brother

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。



ネットワーク設定ガイド

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 第11章「トラブルシューティング」で調べる 11-2 ページ

2 サポート ブラザー　検索　**ブラザーのサポートサイト**にアクセスして、最新の情報を調べる **http://solutions.brother.co.jp/**

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

Version3

目　次

本書のレイアウトについて

章見出しです。

第 6 章 ネットワークプリンタとして使う

大見出しです。

LPR で印刷する

中見出しです。

Windows 2000/XP の場合

小見出しです。

ポートの追加とプリンタの関連付けを行う

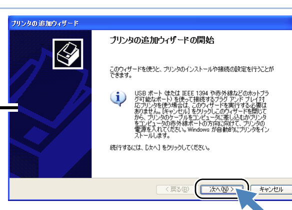
「プリンタの追加ウィザード」で本機へのポートの追加とプリンタドライバのインストールを行います。
すでにパソコンへプリンタドライバをインストールしている場合は、「プリンタドライバがすでにインストールされているときは」P.5-7 をご覧ください。

操作手順です。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選び、「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。



操作手順を補足する手順画面やイラストです。

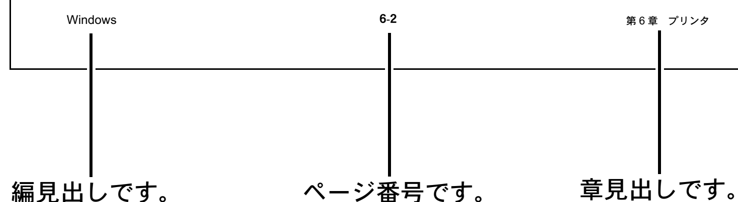
メモです。

メモ 本機の IP アドレスが DHCP などで自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをお勧めします。本機のノード名は、BRAdmin Professional または設定一覧 P.2-21 で確認できます。

参照ページです。クリックすると、関連する情報が記載されているページに移動します。

［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように、注意してください。

注意項目です。



編見出しです。　ページ番号です。　章見出しです。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書で使われているマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

（注意マーク）	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
メモ	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows 95 の正式名称は、Microsoft Windows 95 operating system です。
Windows 98 の正式名称は、Microsoft Windows 98 operating system です。
Windows 98SE の正式名称は、Microsoft Windows 98 Second Edition operating system です。
Windows 2000 Professional の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows 2000 と表記しています。）
Windows Me の正式名称は、Microsoft Windows Millennium Edition operating system です。
Windows NT Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中では Windows NT 4.0 と表記しています。）
Windows XP の正式名称は、Microsoft Windows XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh 、Mac OS 、iBook は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
Ethernet は、Xerox Corporation の商標です。
Cisco は、Cisco Systems, Inc の商標です。
Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
WPA は、Wi-Fi Alliance の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

イラストについて

プリンタ本体のイラストは、HL-5280DW です。

はじめに

第 1 章 ネットワークで使う前に

無線 LAN 機器使用の際のご注意 (HL-5280DW の場合)

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。



無線 LAN 製品は、一般に最大 70 メートル程度の通信能力がありますが、到達距離や通信速度は、設置する環境や使用する機器によって大きく影響を受けます。

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）
「OF」：変調方式が OFDM 方式を表す。（IEEE802.11g のとき）
「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「**---**」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

●セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

ネットワークの概要

概要

本機は、ネットワーク対応プリントサーバを内蔵しており、10/100BASE-TX 有線または IEEE 802.11b/802.11g 無線（HL-5280DW のみ）ネットワーク上で共有することができます。プリントサーバは、TCP/IP プロトコルをサポートする Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0 と、TCP/IP をサポートする Macintosh のための印刷サービスを提供します。以下の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

モデル名	動作環境	10/100 BASE-TX 有線 LAN（TCP/IP）	IEEE 802.11b/g 無線 LAN（TCP/IP）	印刷	BRAdmin Professional	BRAdmin Light	インターネット印刷	ステータスモニタ
HL-5250DN HL-5270DN	Windows 95/98/Me/2000/XP, Windows NT 4.0	○		○	○		○ Windows 2000/XP のみ	○
	Mac OS X 10.2.4 以降	○		○		○		○ Mac OS X 10.3 以降のみ
	Mac OS 9.1 ～ 9.2	○		○				
HL-5280DW	Windows 95/98/Me/2000/XP, Windows NT 4.0	○	○ Windows 95 を除く	○	○		○ Windows 2000/XP のみ	○
	Mac OS X 10.2.4 以降	○	○	○		○		○ Mac OS X 10.3 以降のみ
	Mac OS 9.1 ～ 9.2	○		○				



無線 LAN をお使いの場合（HL-5280DW のみ）

HL-5280DW は、有線および無線の両方のネットワークインターフェースで使用することができます。ただし、有線と無線ネットワークインターフェースを同時に接続することはできません。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）が本機に接続されるときは、本機が自動的に有線 LAN インターフェースを検知します。また、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）が本機に接続されていないときは、無線 LAN 接続が有効になります。

特長と機能

ネットワーク印刷

本機は、TCP/IP プロトコルをサポートしている Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0、また TCP/IP をサポートしている Macintosh（有線ネットワークの場合：Mac OS 9.1 ～ 9.2 Mac OS X 10.2.4 以降、無線 LAN の場合：MacOS X 10.2.4 以降）の印刷サービスを提供しています。

ただし、無線 LAN 機能は HL-5280DW のみ対応しています。

管理ユーティリティ

BRAdmin Professional（Windows の場合）

BRAdmin Professional は、ネットワークの設定や管理が簡単にできるユーティリティです。
BRAdmin Professional をインストールする方法についての詳細は、「第 8 章 BRAdmin Professional で管理する」を参照してください。

BRAdmin Light（Mac OS X 10.2.4 以降の場合）

BRAdmin Light は、プリンタステータスを閲覧したり、起動している Mac OS X 10.2.4 以降のパソコンからネットワーク設定を設定したりするためのユーティリティです。BRAdmin Light は、プリンタドライバをインストールしたときに、自動的にインストールされます。プリンタドライバを既にインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

ネットワーク導入作業の流れ

「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。
以降では、手動でインストールする場合の手順を示します。

ネットワークプリンタの共有形態を決める

↓

お使いの環境に合わせて本機をどのように接続するかを決めます。P.1-8

無線 LAN の接続形態を決める（無線 LAN の場合）

↓

インフラストラクチャモードとアドホックモードのどちらかを選択します。P.1-10

IP アドレスを決める

↓

本機に割り当てる IP アドレスを決めます。P.1-11

ネットワーク接続に必要な環境を整える

↓

本機をネットワーク上で使用するために必要なものを準備します。P.1-14

ネットワークの設定を行う

↓

BRAdmin Professional や操作パネルなどを使用して、本機をネットワーク上で利用できるように IP アドレスなどを設定します。

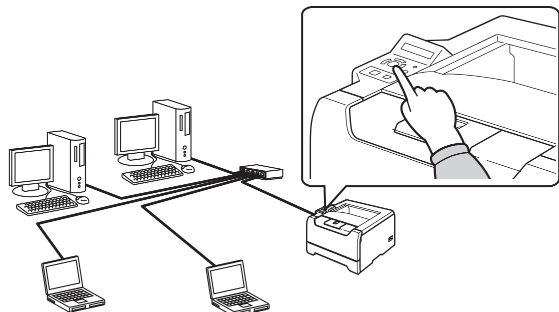
- 有線 LAN の場合P.2-2
- 無線 LAN の場合P.3-1

パソコンにプリンタドライバをインストール、ポートを追加する

やりたいこと目次

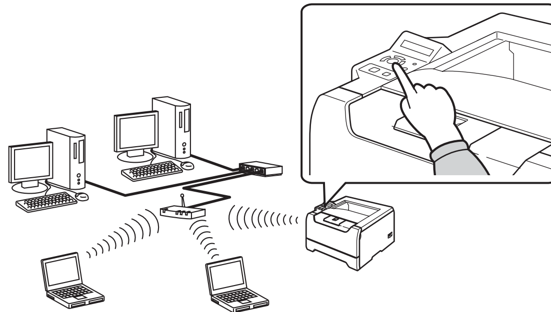
有線 LAN ネットワークの設定をする

有線ネットワーク上で本機を使用するための設定ができます。P.2-2



無線LANネットワークの設定をする（HL-5280DW のみ）

ネットワークケーブル（**LAN** ケーブル）を使用しないで、無線でネットワークに接続できます。
P.3-1

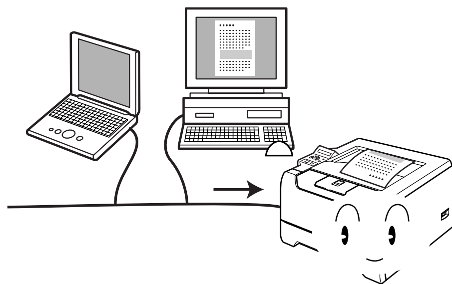


パソコン上にネットワークプリンタの設定をする

本機をネットワーク上のパソコンから利用できるように設定します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

・**Windows** の場合 P.6-2

・**Macintosh** の場合 P.9-2



ネットワークプリンタの共有形態を決める

有線 LAN の接続形態

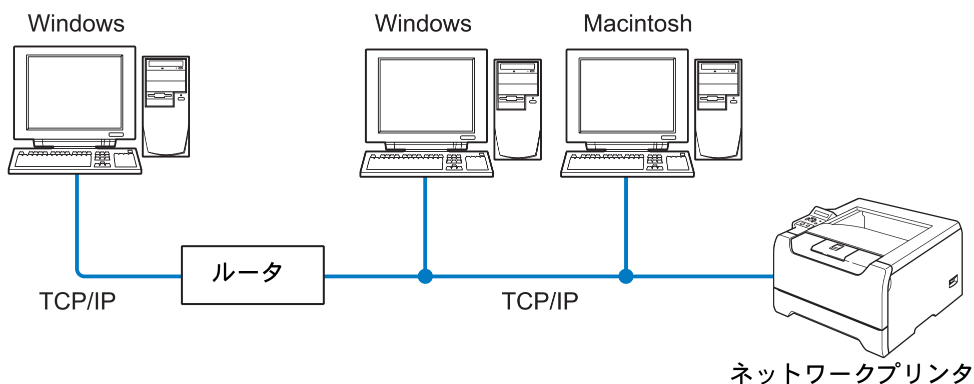
本機を各パソコンからネットワーク上で共有する場合、各パソコンから直接プリンタと通信する「ピアツーピア接続」と、共有パソコンを経由して通信する「ネットワーク共有」があります。



本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

ピアツーピア接続

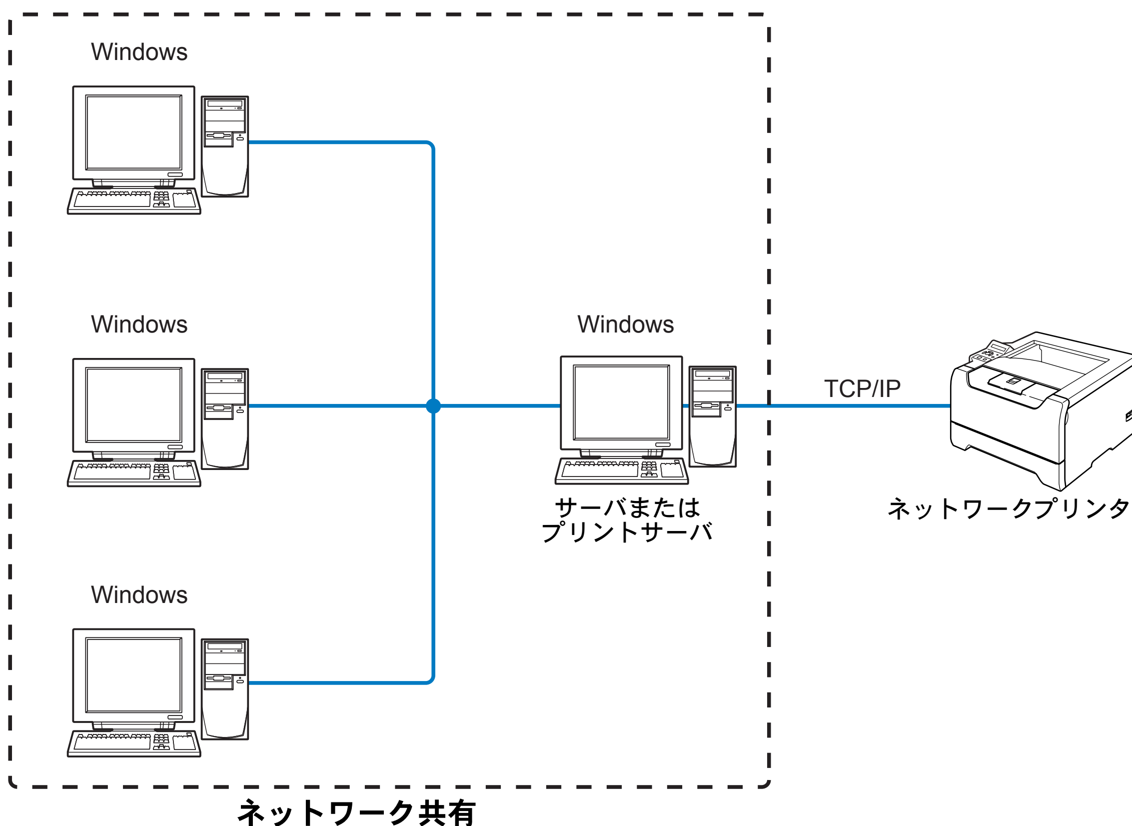
各パソコンにプリンタポートの設定が必要です。



- パソコン 2, 3 台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をおすすめします。ネットワーク共有印刷については、P.2-13 を参照してください。
- どのパソコンも、TCP/IP プロトコルを使用している必要があります。
- ネットワークプリンタに適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ルータを使用している場合は、パソコンとネットワークプリンタにゲートウェイアドレスを設定する必要があります。
- ネットワークプリンタは、Macintosh と通信することもできます。（TCP/IP 互換動作環境）

ネットワーク共有

ネットワークプリンタに直接接続されているパソコンにのみプリンタポートを設定し、そのパソコンを経由して他のパソコンもネットワークプリンタを共有します。ただし、ネットワークプリンタに接続されているパソコンの電源が入っていないと、他のパソコンはネットワークプリンタを使用できません。



ネットワーク共有

- 大規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷環境をおすすめします。
- サーバまたはプリントサーバは、TCP/IP 印刷プロトコルを使用してください。
- サーバまたはプリントサーバには、ネットワークプリンタに適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ネットワークプリンタとサーバをパラレルまたは USB インターフェースを経由して接続することもできます。
- ネットワークプリンタは、Macintosh と通信することもできます。（TCP/IP 互換動作環境）



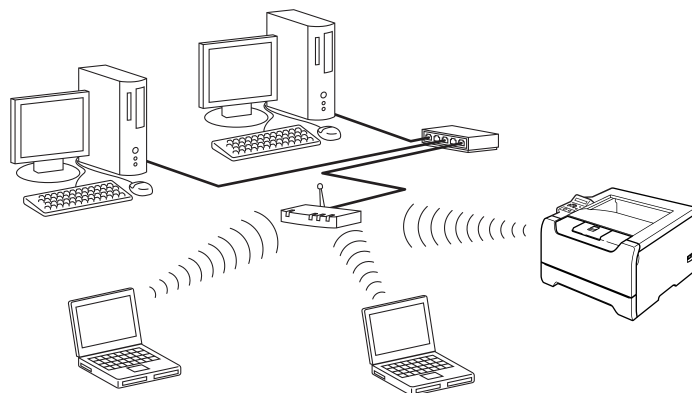
ネットワーク共有の方法については Windows の共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

無線 LAN の接続形態（HL-5280DW のみ）

無線 LAN を使用する場合は、その接続形態を選択する必要があります。
無線 LAN の接続形態には、インフラストラクチャモードとアドホックモードの 2 つのタイプがあります。

インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードのネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。無線 LAN アクセスポイントは、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します（有線 LAN におけるハブのような役割になります）。

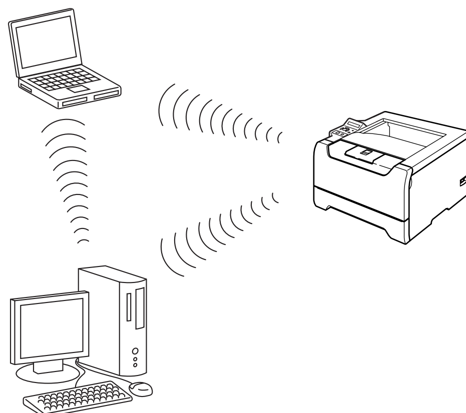




ドライバのインストール方法は、「かんたん設置ガイド」の「STEP3」を参照してください。

アドホックモード

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本機をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するパソコンから印刷データを直接受け取ります。





ドライバのインストール方法は、「第 4 章 アドホックモードに設定する（HL-5280DW のみ）」P.4-1を参照してください。

IP アドレスを決める

TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定

ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

IP アドレス配布サーバを利用している場合

本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

IP アドレス配布サーバを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、本機の操作パネルを使用して本機の IP アドレスを設定してください。



お買い上げ時の IP アドレス

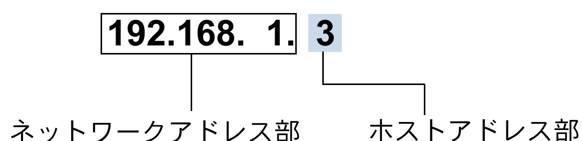
IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の設定値を調べるときは、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」P.2-20を参照してください。

IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器 (ノード) には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは、0 ～ 255 までの数字を「. (ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。
ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	**IP アドレス**
255.255.255.0	**サブネットマスク**

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本機を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。



予約されているアドレス

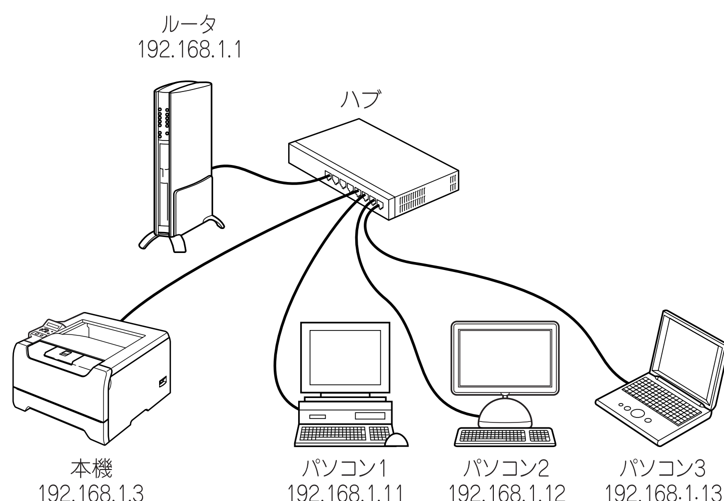
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本機に割り当てることはできません。

IP アドレスの決め方

本機を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。
ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本機やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1. 1	255.255.255.0
本機	192.168.1. 3	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.11	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.12	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.13	255.255.255.0





ネットワーク管理者がいるときは

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。



ネットワーク内にルータがあるときは

ルータにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本機またはパソコンに設定しないでください。ルータの IP アドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本機をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

●ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本機とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。
また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とも 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。



本機を無線 LAN で使用する場合は、ネットワークケーブルは不要ですが、一時的にネットワークケーブルに接続することによって無線 LAN の設定を容易に行うことができます。詳しくは、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

●ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。



無線 LAN をご利用の場合は、ハブの代わりに無線 LAN アクセスポイントが必要です。

●ルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルータを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。



無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN 対応のルータまたはアクセスポイントを使用してください。

ネットワークの設定

第 2 章 有線 LAN で設定する

概要

ネットワーク環境で本機を使用する前に、TCP/IP の設定をする必要があります。
この章では、TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワーク上で印刷するために必要な基本手順について説明します。

本機を有線 LAN に接続するには、付属の CD-ROM の自動インストーラを使用されることをおすすめします。「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってプリンタドライバのインストールを進めると、簡単に本機をネットワークに接続することができます。

CD-ROM の自動インストーラを使用せずに本機を設定する場合は、この章を参照して TCP/IP の設定をしてください。
その後、「第 6 章」「第 7 章」「第 8 章」（Windows の場合）、または「第 9 章」「第 10 章」（Macintosh の場合）を参照して、ネットワーク印刷ソフトウェアやプリンタドライバのインストールを行ってください。

IP アドレスとサブネットマスクを設定する

BRAdmin Professional を使用する（Windows のみ）

BRAdmin Professional を使用して、TCP/IP 環境にある本機に接続されたネットワークを管理することができます。詳細は、「第 8 章 BRAdmin Professional で管理する」P.8-1 を参照してください。

操作パネルを使用する（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）

操作パネルの「ネットワーク」メニューを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）」P.2-5 を参照してください。

その他の設定方法を使用する

他の方法を用いて、本機を設定することができます。詳細は、「操作パネル以外から IP アドレスを設定する」P.12-1 を参照してください

ネットワークの設定を変更する

BRAdmin Professional を使用する（Windows のみ）

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother Administrator Utilities］－［Brother BRAdmin Professional Utilities］－［Brother BRAdmin Professional］の順にクリックします。
BRAdmin Professional が起動されます。

2 ウィンドウの左側のフレームにある「フィルタ」の「TCP/IP」を選びます。

3 ウィンドウの右側のフレームから設定したいプリントサーバを選びます。

4 ［コントロール］メニューから［プリントサーバ設定］を選びます。

5 パスワードを入力します。



お買い上げ時のパスワードは、“access”です。

6 プリントサーバ設定を変更します。

操作パネルを使用する（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）

操作パネルの「ネットワーク」メニューを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）」P.2-5 を参照してください。

ウェブブラウザを使用する

ウェブブラウザを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「第 5 章 ウェブブラウザで管理する」P.5-1 を参照してください。

操作パネルから設定を変更する（HL-5270DN/HL-5280DWのみ）

操作パネルは、さまざまなボタン（や/など）と液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルのボタンを使用して、ネットワークで使用するために行う設定方法について説明します。

ボタンと液晶ディスプレイ

パソコンから操作しなくても、操作パネルのボタンを使って本機のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、/などで選択した設定値を表示します。操作パネルは1行16文字で表示されます。

操作パネルを使用すれば、「ネットワーク」モードの設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。
「インサツデキマス」と表示されているときに、/ / / のいずれかを押し、/で「ネットワーク」モードを選択してください。

ﾈｯﾄﾜｰｸ

操作パネルから設定できる項目

本機の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。

メニュー名と項目名			参照先
有線 LAN	有線 LAN オン / オフ（HL-5280DW のみ）		P.2-6
	TCP/IP （有線）	TCP/IP オン / オフ	P.2-8
		IP アドレス	P.2-9
		サブネットマスク	P.2-10
		ゲートウェイ	P.2-11
		IP 取得リトライ回数	P.2-12
		IP 取得方法	P.2-13
		APIPA	P.2-14
		IPv6	P.2-15
	NetBIOS/IP		P.2-16
	イーサネットモード		P.2-17
	有線設定リセット		P.2-18
設定一覧の印刷			P.2-20



- Windows をお使いの場合は、付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Professional」を使用して設定することもできます。P.8-1
- Mac OS X をお使いの場合は、ドライバインストールと同時にインストールされる「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。P.10-1
- ウェブブラウザを使用して設定することができます。P.5-1

有線 LAN オン / オフ（HL-5280DW のみ）

有線 LAN を「オン」または「オフ」に設定できます。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ゛キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
TCP/IP

3 またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN
▼
ユウセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【ユウセン LAN オン / オフ】を選択し、

を押します。

ユウセン LAN オン / オフ
▼
= オン　＊

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オン】になっています。

5 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、

を押します。

= オン
▼
= オフ　＊

有線 LAN オン / オフの設定が確定されます。

6 を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

TCP/IP の設定（有線）

TCP/IP を使用して印刷するには、本機に IP アドレスを設定します。
パソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本機が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。



本機のお買い上げ時の設定は、以下のとおりです。
- IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）



- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用していない場合は、お買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 になります。
- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。
  パソコンを使用する場合は、BRAdmin Professional や BRAdmin Light、ウェブブラウザを使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。
  本機の操作パネルを使用する場合は、「IP 取得方法」P.2-13 を参照してください。

このメニューは 8 つの項目で構成されています。

- **TCP/IP オン / オフ**
- **IP アドレス**
- **サブネットマスク**
- **ゲートウェイアドレス**
- **IP 取得リトライ回数**
- **IP 取得方法**
- **APIPA**
- **IPv6**



TCP/IP を設定する他の方法
- BRAdmin Professional を使用する場合は、「ネットワークインターフェースを設定する」P.8-2 を参照してください。
- その他 TCP/IP を設定する方法は「IP アドレスの設定方法」P.12-2 を参照してください。

TCP/IP オン / オフ

TCP/IP を使用してネットワークに接続するときは「オン」に設定します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデキマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ネットワーク
▼
TCP/IP

3 HL-5280DW の場合

またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN
▼
TCP/IP

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【TCP/IP オン / オフ】を選択し、

を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【＝オン】になっています。

TCP/IP オン / オフ
▼
= オン *

6 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、

を押します。

TCP/IP の設定が確定されます。

= オン
▼
= オフ *

7 を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

IP アドレス

本機の現在の IP アドレスが表示されます。お買い上げ時は APIPA により自動的に割り当てられます。IP アドレスを変更する場合は、「IP セッテイホウホウ」（IP 取得方法）を「コテイ」（STATIC）に指定してください。
「コテイ」（STATIC）以外の「IP セッテイホウホウ」（IP 取得方法）が選択されている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
「IP セッテイホウホウ」（IP 取得方法）が「オート」（AUTO）に設定されている場合、Windows 2000 の BOOTP サーバから IP の取得ができないので、DHCP を使うようにしてください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス ▼ インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ネットワーク ▼ TCP/IP

3 HL-5280DW の場合
またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN ▼ TCP/IP

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP ▼ TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【IP アドレス】を選択し、を押します。

IP アドレスの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。
お買い上げ時は【169.254.xxx.xxx】（xxx は任意）または【0.0.0.0】（ケーブル未接続の場合）になっています。

IP アドレス = ▼ 169. 254. 210. 242

6 またはを押して第 1 ブロックの IP アドレスを変更し、
を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。

169. 254. 210. 242 ▼ 192. 254. 210. 242

7 同様の手順で第 2 ブロック以降の IP アドレスを変更します。
を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

192. 254. 210. 242 ▼ 192. 168. 210. 242

8 IP アドレスの変更が完了したら、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
IP アドレスの設定が確定されます。

192. 168. 1. 3 ▼ 192. 168. 1. 3*

9 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本機が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
TCP/IP

3 HL-5280DW の場合
またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ﾕｳｾﾝ LAN
▼
TCP/IP

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP ｵﾝ / ｵﾌ

5 またはを押して【サブネットマスク】を選択し、
を押します。

サブネットマスクの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。
お買い上げ時は【255.255.0.0】または【0.0.0.0】（ケーブル未接続の場合）になっています。

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ =
▼
255. 255. 0. 0

6 またはを押して第 1 ブロックのサブネットマスクを変更し、
を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。

255. 255. 0. 0
▼
255. 255. 0. 0

7 同様の手順で第 2 ブロック以降のサブネットマスクを変更します。
を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

255. 255. 0. 0
▼
255. 255. 0. 0

8 サブネットマスクの変更が完了したら、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【*】が表示されます。【*】は現在の設定値を示します。
サブネットマスクの設定が確定されます。

255. 255. 255. 0
▼
255. 255. 255. 0*

9 を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本機の現在のゲートウェイアドレス（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合は初期値 (0.0.0.0) にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス ▼ インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ネットワーク ▼ TCP/IP

3 HL-5280DW の場合

またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN ▼ TCP/IP

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP ▼ TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【ゲートウェイアドレス】を選択し、を押します。

ゲートウェイアドレスの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。
お買い上げ時は【0.0.0.0】になっています。

ゲートウェイアドレス = ▼ 0. 0. 0. 0

6 またはを押して第 1 ブロックのゲートウェイアドレスを変更し、を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。

0. 0. 0. 0 ▼ 0. 0. 0. 0

7 同様の手順で第 2 ブロック以降のゲートウェイアドレスを変更します。

を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

0. 0. 0. 0 ▼ 0. 0. 0. 0

8 ゲートウェイアドレスの変更が完了したら、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
ゲートウェイアドレスの設定が確定されます。

0. 0. 0. 0 ▼ 0. 0. 0. 0＊

9 を押します。

設定メニューを終了します。

IP 取得リトライ回数

IP 取得時のリトライ回数を設定します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
TCP/IP

3 HL-5280DW の場合
またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ﾕｳｾﾝ LAN
▼
TCP/IP

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP ｵﾝ / ｵﾌ

5 またはを押して【IP セッテイリトライ】を選択し、
を押します。

液晶ディスプレイの右端に【*】が表示されます。【*】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【3】になっています。

IP ｾｯﾃｲﾘﾄﾗｲ
▼
=3 *

6 またはを押してリトライ回数を変更し、を押します。

リトライ回数の設定が確定されます。

=3
▼
=5 *

7 を押します。

設定メニューを終了します。

IP 取得方法

IP の取得方法を設定します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ネットワーク
▼
TCP/IP

3 HL-5280DW の場合
またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN
▼
TCP/IP

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【IP セッテイホウホウ】を選択し、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オート】になっています。

IP セッテイホウホウ
▼
= オート *

6 またはを押して【オート】、【コテイ】、【RARP】、【BOOTP】、【DHCP】から選択し、を押します。
IP の取得方法の設定が確定されます。

= オート
▼
= コテイ *

7 を押します。

設定メニューを終了します。

APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA（AutoIP）機能によって本機に IP アドレスを自動的に割り当てることができます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Professional や BRAdmin Light、操作パネルから IP アドレスを変更してください。P.12-2

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
TCP/IP

3 HL-5280DW の場合
またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ﾕｳｾﾝ LAN
▼
TCP/IP

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP ｵﾝ / ｵﾌ

5 またはを押して【APIPA オン / オフ】を選択し、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オン】になっています。

APIPA ｵﾝ / ｵﾌ
▼
= ｵﾝ　　　　＊

6 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、
を押します。

APIPA の設定が確定されます。

= ｵﾝ
▼
= ｵﾌ　　　　＊

7 を押します。

設定メニューを終了します。



IP アドレスの自動設定機能（APIPA）

- APIPA プロトコルを使用していると、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
  サブネットマスク：255.255.0.0
  ゲートウェイ：0.0.0.0
- APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、APIPA 機能を無効にします。
- お買い上げ時は、APIPA プロトコルは使用可能に設定されています。

IPv 6

本機は次世代インターネットプロトコル IPv 6 に対応しています。
IPv 6 についての詳細は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）を参照してください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデキマス ▼ インフォメーション

2 または を押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ネットワーク ▼ TCP/IP

3 HL-5280DW の場合
または を押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN ▼ TCP/IP

4 または を押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP ▼ TCP/IP オン / オフ

5 または を押して【IPV6 オン / オフ】を選択し、
を押します。

液晶ディスプレイの右端に【*】が表示されます。【*】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オフ】になっています。

IPV6 オン / オフ ▼ = オフ *

6 または を押して【オン】または【オフ】を選択し、
を押します。

IPv6 の設定が確定されます。

= オフ ▼ = オン *

7 を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

NetBIOS/IP の設定

本機は TCP/IP 上（NetBIOS 経由）で SMB（Server Message Block）をサポートしています。これにより、ネットワークの検索時に通常の Windows パソコン のように本機を表示させることができます。このように NetBIOS を使用した場合、Microsoft Network に接続しているパソコンの DOS アプリケーションから印刷することができます。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス
▼
インフォメーション

2 または を押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ネットワーク
▼
TCP/IP

3 HL-5280DW の場合

または を押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN
▼
TCP/IP

4 または を押して【NETBIOS/IP オン / オフ】を選択し、

を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オン】になっています。

NETBIOS/IP オン / オフ
▼
= オン ＊

5 または を押して【オン】または【オフ】を選択し、

を押します。

NETBIOS/IP の設定が確定されます。

= オン
▼
= オフ ＊

6 を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

イーサネットモード

イーサネットの転送速度を設定します。
この設定に対する変更を有効にするためには、本機を一度リセットする必要があります。



誤った設定をした場合、本機にアクセスできなくなることがあります。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ゛キマス



インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

HL-5270DN の場合は、手順 4 に進みます。

ネットワーク



TCP/IP

3 HL-5280DW の場合
またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN



TCP/IP

4 またはを押して【イーサネットモード】を選択し、
を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オート】になっています。

イーサネットモード



= オート　＊

5 またはを押して【オート】、【100B-FD】、【100B-HD】、【10B-FD】、【10B-HD】から選択し、を押します。

イーサネットモードの設定が確定されます。

= オート



=100B-FD　＊

6 を押します。

設定メニューを終了します。

● Ethernet リンクモードについて

オート：　100Base-TX（全二重 / 半二重）、10Base-T（半二重）モードを自動接続により選択します。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：
それぞれのリンクモードに固定されます。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

ネットワーク設定リセット

現在のネットワーク設定を全て初期化できます。

HL-5270DN/HL-5280DW の場合

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
TCP/IP

3 またはを押して【コウジョウ リセット】を選択し、を押します。

ｺｳｼﾞｮｳ ﾘｾｯﾄ
▼
OK?

4 再度を押します。

設定メニューを終了します。



ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする他の方法
- BRAdmin Proffessional（Windows 専用）または BRAdmin Light（Macintosh 専用）を使用する。
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」P.5-1を参照してください。

HL-5250DN の場合

1 プリンタの電源を切ります。

2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

3 プリンタの電源を入れて、（Go）を押し続けます。

すべてのランプが点灯し、その後、Status ランプが消灯します。

4 （Go）を離します。

すべてのランプが消灯することを確認します。

5 （Go）を 6 回押します。

すべてのランプが点灯することを確認します。
（プリントサーバーが工場出荷時の状態に戻ったことを示します。）

有線 LAN のみリセット（HL-5280DW のみ）

現在の有線 LAN 設定で操作パネルから設定可能な項目のみを全て初期化できます。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ゛キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
TCP/IP

3 またはを押して【ユウセン LAN】を選択し、を押します。

ユウセン LAN
▼
ユウセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【ユウセン セッテイ リセット】を選択し、を押します。

ユウセン セッテイ リセット
▼
OK?

5 再度を押します。

設定メニューを終了します。

設定一覧の印刷

本機の設定メニューと設定値は、次の方法で印刷します。

● HL-5270DN/HL-5280DW の場合

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデキマス
▼
インフォメーション

2 【インフォメーション】が表示されていることを確認して、を押します。

インフォメーション
▼
セッテイリスト インサツ

3 【セッテイリスト インサツ】が表示されていることを確認して、を押します。

セッテイリスト インサツ

設定メニューと設定値のリストが印刷されます。

● HL-5250DN の場合

1 本機の電源を切ります。

2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

3 本機の電源を入れて、印刷可能状態になるまで待ちます。

4 を 3 回押します。（2 秒以内）

プリンタ設定一覧が印刷されます。

第 3 章 無線 LAN で設定する（HL-5280DW のみ）

概要

本機を無線 LAN に接続するには、付属の CD-ROM の自動インストーラを使用されることをおすすめします。「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってプリンタドライバのインストーラを進めると、簡単に本機をネットワークに接続することができます。

CD-ROM の自動インストーラを使用せずに本機を設定する場合は、この章を参照して TCP/IP の設定をしてください。
その後、「第 6 章」「第 7 章」「第 8 章」（Windows の場合）、または「第 9 章」「第 10 章」（Macintosh の場合）を参照して、ネットワーク印刷ソフトウェアやプリンタドライバのインストールを行ってください。

無線 LAN 設定の用語と概念

無線 LAN の設定をするときには、本機の設定を既存の無線 LAN アクセスポイントの設定に合わせる必要があります。
ここでは、無線 LAN の設定をする上で必要な主な用語や概念について説明します。

SSID とチャンネルについて

無線 LAN アクセスポイントに接続するときは、SSID とチャンネルを明確に設定する必要があります。

SSID（ネットワーク名）

それぞれの無線ネットワークでは、SSID または ESSID（拡張サービスセット識別子）と言われる固有のネットワーク名を持っています。SSID は 32 バイト以下であり、無線 LAN アクセスポイントに割り当てられています。無線ネットワークに接続する無線ネットワークデバイスは、その無線 LAN アクセスポイントの SSID に合わせる必要があります。アクセスポイントと無線ネットワークデバイスは、定期的に SSID 情報を持った無線パケット（ビーコンとして認識されている）を送信し、相手の存在を認識します。

チャンネル

無線ネットワークではチャンネルという概念を使用します。各無線チャンネルは、それぞれ異なる周波数を持っています。無線ネットワークで設定する場合、接続先の無線 LAN アクセスポイントで使用されているチャンネルにデバイスを設定しなければなりません。
無線ネットワークを使用するときに用いることができるチャンネルは 1-14 チャンネルです。

認証方式と暗号方化式について

有線ネットワークとは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線ネットワーク環境下では、セキュリティに関する設定を行い傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。
本機を無線ネットワークに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。
ここでは、本機がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

認証方式

本機がサポートする認証方式は次のとおりです。

- **オープンシステム：認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。**
- **共有キー（インフラストラクチャーモードのみ）：**
  あらかじめ秘密のネットワークキーを設定しておいて、同じキーを使用している機器にのみアクセスを許可します。
- **WPA-PSK ：定期的に変更されるネットワークキーを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WPA-PSK による認証を使用する場合には、接続する相手の機器も WPA-PSK に対応している必要があります。**
- **LEAP ：Cisco LEAP（ライト拡張認識プロテクト）は、認証用にユーザー ID パスワードを使用します。**

暗号化方式

本機は下記の暗号化方式をサポートしています。

- なし ：暗号化を行いません。
- WEP ：WEP（Wired Equivalent Privacy）の機能を用いてデータを暗号化し送受信を行います。
- TKIP ：定期的に暗号キーが変更される暗号化方式です。高いセキュリティを実現できます。
  TKIP は、パケットごとのキーミキシング、メッセージインテグリティチェック、再キーの構造を提供します。
- AES ：AES は、Wi-Fi 認証された強化暗号化標準です。
- CKIP ：CKIP は、Cisco LEAP 認証とともに使用される暗号化方式です。

ネットワークキー

本機は、「オープンシステム / 共有キーでの WEP」セキュリティ方式においてネットワークキーとして WEP キーを使用します。
WEP キーは次のような規定に従い、64bit または 128bit キーに対応する値を ASCII 文字か 16 進数フォーマットで入力します。

- **64(40)bit　ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。**
  例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
- **64(40)bit　16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234aba"
- **128(104)bit　ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。**
  例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
- **128(104)bit　16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"

- WPA-PSK と TKIP/AES：長さ 8 以上で 63 キャラクター以内の事前共有キー（PSK）を使用します。



本書では、無線 LAN に関する用語は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「無線 LAN のセキュリティに関するガイドライン（改訂版）」で推奨されている統一用語を使用しています。

主な推奨用語	各メーカーで使用されている用語
無線 LAN	ワイヤレス LAN
無線 LAN アクセスポイント	無線 LAN ルータ、ワイヤレス・ブロードバンドルータ
SSID	ネットワーク名、ESS-ID、ESSID

無線 LAN 設定

本機を無線 LAN で接続するためには、最初に無線に関する設定を行い、その後必要に応じて IP アドレスなどのネットワーク設定を行います。
無線 LAN の設定をする場合、次の 2 つの方法があります

- CD-ROM にある自動インストールを使用する（推奨）
- 操作パネルを使用する

なお、この章ではインフラストラクチャモードによる設定について説明します。アドホックモードについては、「第 4 章 アドホックモードに設定する（HL-5280DW のみ）」P.4-1 を参照してください。

インストール時に設定する

付属の CD-ROM の自動インストーラを使用されることをおすすめします。「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。

操作パネルを使用する

操作パネルは、さまざまなボタン（ や / など）と液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルのボタンを使用して、ネットワークで使用するために行う設定方法について説明します。

ボタンと液晶ディスプレイ

パソコンから操作しなくても、操作パネルのボタンを使って本機のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、/ などで選択した設定値を表示します。操作パネルは 1 行 16 文字で表示されます。

操作パネルを使用すれば、「ネットワーク」モードの設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。
「インサツデキマス」と表示されているときに、/ / / のいずれかを押し、/ で「ネットワーク」モードを選択してください。

ﾈｯﾄﾜｰｸ

無線 LAN 設定の項目

無線 LAN 設定では、下記の項目を設定する必要があります。

設定 メニュー 1	設定 メニュー 2	サブメニュー設定	説明
ムセン LAN	ムセン セッテイ	セツゾクモード	= アドホック / インフラストラクチャ 現在のネットワーク接続モード（アドホック / インフラストラクチャ）を表示します。
		SSID ケンサク	=###### 接続可能な無線ネットワーク（SSID）を表示します。 表示された接続先の SSID を選択して、設定します。 「SSID（ネットワーク名）」P.3-2 を参照してください。
		SSID	= 接続先の SSID を設定します。 数字の「0」-「9」、ASCII 文字の「a」-「z」、「A」-「Z」を使用して、32 文字以内で入力します。 「SSID（ネットワーク名）」P.3-2 を参照してください。

設定 メニュー 1	設定 メニュー 2	サブメニュー設定	説明
ムセン LAN	ムセン セッテイ	チャンネル	=1,...11,..14 【セツゾクモード】で【アドホックモード】が設定されているときに、現在使用されているチャンネルを表示します。「チャンネル」P.3-2 を参照してください。
		ニンショウホウホウ	= オープンシステム / キョウユウキー /WPA-PSK/LEAP 認証方式を設定します。 【セツゾクモード】で【インフラストラクチャモード】が設定されているときは、【キョウユウキー】【WPA-PSK】【LEAP】から選択します。 「認証方式」P.3-2 を参照してください。
		アンゴウカホウホウ	= ナシ /WEP/TKIP/AES/CKIP 暗号化方式を設定します。 「暗号化方式」P.3-2 を参照してください。
		WEP キーセンタク	= キー 1/ キー 2/ キー 3/ キー 4 設定する WEP キーを選択します。 「ネットワークキー」P.3-3 を参照してください。
		WEP キー 1 サイズ	=64（40）ビット /128（64）ビット WEP キーのサイズを設定します。 「ネットワークキー」P.3-3 を参照してください。
		WEP キー 2 サイズ	
		WEP キー 3 サイズ	
		WEP キー 4 サイズ	
		WEP キー 1 タイプ	=ASCII/HEX WEP キーのタイプを設定します。 「ネットワークキー」P.3-3 を参照してください。
		WEP キー 2 タイプ	
		WEP キー 3 タイプ	
		WEP キー 4 タイプ	
		WEP キー 1	=### 新しい WEP キー番号を設定します。 「ネットワークキー」P.3-3 を参照してください。
		WEP キー 2	
		WEP キー 3	
		WEP キー 4	
		PSK（パスフレーズ）	=### 【ニンショウモード】で【WPA-PSK】を選択したときに、ネットワークキーを 7-64 文字の範囲で入力します。
		ユーザー ID	=### 【ニンショウモード】で【LEAP】を選択したときに、ユーザー ID を 64 文字以内で入力します。
		ユーザーパスワード	=### 【ニンショウモード】で【LEAP】を選択したときに、パスワードを 32 文字以内で入力します。
		セッテイハンエイ	= ジッコウ & ケッカインサツ / ジッコウ 無線 LAN 設定を行ったときに、設定を有効にします。この操作を行わないときは、本機の電源の入れ直すと、ネットワーク設定が有効になります。

●無線 LAN 設定の設定手順

無線 LAN 設定は、次の手順で設定します。

1 、、、のいずれかを押します。
オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN

4 またはを押して【ムセン セッテイ】を選択し、を押します。

ムセン セッテイ

5 またはを押して【セツゾクモード】を選択し、を押します。

セツゾク モード

6 またはを押して【インフラストラクチャ】を選択し、
を押します。

インフラストラクチャ

7 またはを押して【SSID ケンサク】を選択し、を押します。

SSID ケンサク

8 本機は無線ネットワーク名（SSID）を検索しています。
数秒～数十秒後に SSID が表示されます。

ケンサクチュウ

9 またはを押して使用する SSID を選択し、を押します。
- 手順 14 へ進みます。
- SSID が検索されないときは、手順 10 へ進みます。

XXXXXX

10 またはを押して【SSID】を選択し、を押します。

SSID

11 またはを押して新しい SSID を入力し、を押します。

12 またはを押して【チャンネル】を選択し、を押します。

チャンネル

13 またはを押してチャンネル No. を【1】～【14】から
選択し、を押します。

=**

14 または を押して【ニンショウ ホウホウ】を選択し、を押します。

ﾆﾝｼｮｳ ﾎｳﾎｳ

15 または を押して【オープンシステム】、【キョウユウキー】、【WPA-PSK】、【LEAP】から選択し、を押します。

- 【オープンシステム】、【WPA-PSK】を選択したときは、手順 16 へ進みます。
- 【キョウユウキー】を選択したときは、手順 18 へ進みます。
- 【LEAP】を選択したときは、手順 28 へ進みます。

=ｵｰﾌﾟﾝｼｽﾃﾑ
=ｷｮｳﾕｳｷｰ
=WPA-PSK
=LEAP

16 または を押して【アンゴウ ホウホウ】を選択し、を押します。

ｱﾝｺﾞｳ ﾎｳﾎｳ

17 または を押して暗号化方式を選択し、を押します。

- 手順 15 で【オープンシステム】を選択したときは、【ナシ】を選択して手順 32 へ進むか、または【WEP】を選択して手順 18 へ進みます。
- 手順 15 で【WPA-PSK】を選択したときは、【TKIP】または【AES】を選択して手順 26 へ進みます。
- 手順 15 で【LEAP】を選択したときは、【CKIP】を選択して手順 28 へ進みます。

=ﾅｼ
=WEP
=TKIP
=AES
=CKIP

18 または を押して【WEP キー センタク】を選択し、を押します。

WEP ｷｰ ｾﾝﾀｸ

19 または を押して【キー 1】、【キー 2】、【キー 3】、【キー 4】から選択し、を押します。

=ｷｰ 1
=ｷｰ 2
=ｷｰ 3
=ｷｰ 4

20 または を押して手順 19 で選択したキー No. の WEP キーサイズを選択し、を押します。

WEP ｷｰ 1 ｻｲｽﾞ
WEP ｷｰ 2 ｻｲｽﾞ
WEP ｷｰ 3 ｻｲｽﾞ
WEP ｷｰ 4 ｻｲｽﾞ

21 または を押して【64（40）ビット】または【128（104）ビット】を選択し、を押します。

=64(40)ﾋﾞｯﾄ
=128(104)ﾋﾞｯﾄ

22	または を押して手順 19 で選択したキー No. の WEP キータイプを選択し、を押します。	WEP ｷｰ 1 ﾀｲﾌﾟ WEP ｷｰ 2 ﾀｲﾌﾟ WEP ｷｰ 3 ﾀｲﾌﾟ WEP ｷｰ 4 ﾀｲﾌﾟ
23	または を押して【ASCII】または【HEX】を選択し、を押します。	=ASCII =HEX
24	または を押して手順 19 で選択したキー No. の WEP キー NO を選択し、を押します。	WEP ｷｰ 1 WEP ｷｰ 2 WEP ｷｰ 3 WEP ｷｰ 4
25	新しい WEP キーを入力し、を押します。 ● 手順 32 へ進みます。	***
26	または を押して【PSK（パスフレーズ）】を選択し、を押します。	PSK(ﾊﾟｽﾌﾚｰｽﾞ)
27	「WPA-PSK」または「TKIP/AES」のネットワークキーを入力し、を押します。 ● 手順 32 へ進みます。	***
28	または を押して【ユーザー ID】を選択し、を押します。	ﾕｰｻﾞ - ID
29	「LEAP」のユーザー ID を入力し、を押します。	
30	または を押して【ユーザーパスワード】を選択し、を押します。	ﾕｰｻﾞｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
31	「LEAP」のパスワードを入力し、を押します。	***

32 または を押して【セッテイハンエイ】を選択し、を押します。

セｯﾃｲﾊﾝｴｲ

33 または を押して【ジッコウ】または【ジッコウ & ケッカインサツ】を選択し、を押します。

=ｼﾞｯｺｳ

=ｼﾞｯｺｳ & ｹｯｶ

【ジッコウ & ケッカインサツ】を選択すると、設定リストが印刷されます。



メモ を押すと同時に無線 LAN 設定が有効になります。

ネットワークの設定を変更する

無線 LAN の設定が完了すると、BRAdmin Professional、または操作パネルを使用して無線 LAN 設定を変更することができます。

BRAdmin Professional を使用する（Windows のみ）

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother Administrator Utilities］－［Brother BRAdmin Professional Utilities］－［Brother BRAdmin Professional］の順にクリックします。
BRAdmin Professional が起動されます。

2 ウィンドウの左側のフレームにある「フィルタ」の「TCP/IP」を選びます。

3 ウィンドウの右側のフレームから設定したいプリントサーバを選びます。

4 ［コントロール］メニューから［プリントサーバ設定］を選びます。

5 パスワードを入力します。



お買い上げ時のパスワードは、“access”です。

6 プリントサーバ設定を変更します。

操作パネルを使用する

操作パネルの「ネットワーク」メニューを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「操作パネルから設定を変更する」P.3-11 を参照してください。

ウェブブラウザを使用する

ウェブブラウザを使用して、本機のネットワークに関する項目を設定、または変更することができます。詳細は、「第 5 章 ウェブブラウザで管理する」P.5-1 を参照してください。

操作パネルから設定を変更する

操作パネルは、さまざまなボタン（や/など）と液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルのボタンを使用して、ネットワークで使用するために行う設定方法について説明します。

ボタンと液晶ディスプレイ

パソコンから操作しなくても、操作パネルのボタンを使って本機のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、/などで選択した設定値を表示します。操作パネルは 1 行 16 文字で表示されます。

操作パネルを使用すれば、「ネットワーク」モードの設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。
「インサツデキマス」と表示されているときに、/ / / のいずれかを押し、/ で「ネットワーク」モードを選択してください。

ﾈｯﾄﾜｰｸ

操作パネルから設定できる項目

本機の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。

メニュー名と項目名			参照先
無線 LAN	無線 LAN オン / オフ		P.3-12
	TCP/IP （無線）	TCP/IP オン / オフ	P.3-14
		IP アドレス	P.3-15
		サブネットマスク	P.3-16
		ゲートウェイ	P.3-17
		IP 取得リトライ回数	P.3-18
		IP 取得方法	P.3-19
		APIPA	P.3-20
		IPv6	P.3-21
	無線設定	接続モード	P.3-4
		SSID 検索	
		SSID	
		チャンネル	
		認証方式	
		暗号化方式	
		WEP キーセンタク	
		WEP キー 1（2, 3, 4）サイズ	
		WEP キー 1（2, 3, 4）タイプ	
		WEP キー 1（2, 3, 4）	
		PSK（パスフレーズ）	
		ユーザー ID	
		ユーザーパスワード	
		設定反映	
	NetBIOS/IP		P.3-22
	無線設定リセット		P.3-23
設定一覧の印刷			P.3-25

無線 LAN オン / オフ

無線 LAN を「オン」または「オフ」に設定できます。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツテ゛キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
ユウセン LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN
▼
ムセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【ムセン LAN オン / オフ】を選択し、

を押します。

ムセン LAN オン / オフ
▼
= オン *

液晶ディスプレイの右端に【*】が表示されます。【*】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オン】になっています。

5 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、

を押します。

= オン
▼
= オフ *

無線 LAN オン / オフの設定が確定されます。

6 を押します。

設定メニューを終了します。

TCP/IP の設定（無線）



- Windows をお使いの場合は、付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Professional」を使用して設定することもできます。P.8-1
- Mac OS X をお使いの場合は、ドライバインストールと同時にインストールされる「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。P.10-1
- ウェブブラウザを使用して設定することができます。P.5-1

TCP/IP を使用して印刷するには、本機に IP アドレスを設定します。
パソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本機が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。



本機のお買い上げ時の設定は、以下のとおりです。
- IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）



- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用していない場合は、お買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 になります。
- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。
  パソコンを使用する場合は、BRAdmin Professional や BRAdmin Light、ウェブブラウザを使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。
  本機の操作パネルを使用する場合は、「IP 取得方法」P.3-19 を参照してください。

このメニューは 8 つの項目で構成されています。

- **TCP/IP オン / オフ**
- **IP アドレス**
- **サブネットマスク**
- **ゲートウェイアドレス**
- **IP 取得リトライ回数**
- **IP 取得方法**
- **APIPA**
- **IPv6**



TCP/IP を設定する他の方法
- BRAdmin Professional を使用する場合は、「ネットワークインターフェースを設定する」P.8-2を参照してください。
- その他 TCP/IP を設定する方法は「IP アドレスの設定方法」P.12-2を参照してください。

TCP/IP オン / オフ

TCP/IP を使用してネットワークに接続するときは「オン」に設定します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
ユウセン LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN
▼
ムセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【TCP/IP オン / オフ】を選択し、

を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【＝オン】になっています。

TCP/IP オン / オフ
▼
= オン ＊

6 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、

を押します。

TCP/IP の設定が確定されます。

= オン
▼
= オフ ＊

7 を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

IP アドレス

本機の現在の IP アドレスが表示されます。お買い上げ時は APIPA により自動的に割り当てられます。IP アドレスを変更する場合は、「IP セッテイホウホウ」（IP 取得方法）を「コテイ」（STATIC）に指定してください。
「コテイ」（STATIC）以外の「IP セッテイホウホウ」（IP 取得方法）が選択されている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
「IP セッテイホウホウ」（IP 取得方法）が「オート」（AUTO）に設定されている場合、Windows 2000 の BOOTP サーバから IP の取得ができないので、DHCP を使うようにしてください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
ﾕｳｾﾝ LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ﾑｾﾝ LAN
▼
ﾑｾﾝ LAN ｵﾝ / ｵﾌ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP ｵﾝ / ｵﾌ

5 またはを押して【IP アドレス】を選択し、を押します。

IP アドレスの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。
お買い上げ時は【169.254.xxx.xxx】（xxx は任意）になっています。

IP ｱﾄﾞﾚｽ =
▼
169. 254. 210. 242

6 またはを押して第 1 ブロックの IP アドレスを変更し、を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。

169. 254. 210. 242
▼
192. 254. 210. 242

7 同様の手順で第 2 ブロック以降の IP アドレスを変更します。

を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

192. 254. 210. 242
▼
192. 168. 210. 242

8 IP アドレスの変更が完了したら、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
IP アドレスの設定が確定されます。

192. 168. 1. 3
▼
192. 168. 1. 3*

9 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本機が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス ▼ インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク ▼ ユウセン LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN ▼ ムセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP ▼ TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【サブネットマスク】を選択し、

を押します。

サブネットマスクの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。
お買い上げ時は【255.255.0.0】になっています。

サブ ネットマスク = ▼ 255. 255. 0. 0

6 またはを押して第 1 ブロックのサブネットマスクを変更し、

を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。

255. 255. 0. 0 ▼ 255. 255. 0. 0

7 同様の手順で第 2 ブロック以降のサブネットマスクを変更します。

を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

255. 255. 0. 0 ▼ 255. 255. 0. 0

8 サブネットマスクの変更が完了したら、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
サブネットマスクの設定が確定されます。

255. 255. 255. 03 ▼ 255. 255. 255. 0＊

9 を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本機の現在のゲートウェイアドレス（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合は初期値 (0.0.0.0) にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
ユウセン LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN
▼
ムセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【ゲートウェイアドレス】を選択し、を押します。

ゲートウェイアドレス＝
▼
0. 0. 0. 0

ゲートウェイアドレスの第 1 ブロックの末尾が点滅表示されます。
お買い上げ時は【0.0.0.0】になっています。

6 またはを押して第 1 ブロックのゲートウェイアドレスを変更し、を押します。

次のブロック（右）にカーソルが移動します。

0. 0. 0. 0
▼
0. 0. 0. 0

7 同様の手順で第 2 ブロック以降のゲートウェイアドレスを変更します。

を押すと、1 つ前のブロックにカーソルが移動します。

0. 0. 0. 0
▼
0. 0. 0. 0

8 ゲートウェイアドレスの変更が完了したら、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【*】が表示されます。【*】は現在の設定値を示します。
ゲートウェイアドレスの設定が確定されます。

0. 0. 0. 0
▼
0. 0. 0. 0*

9 を押します。

設定メニューを終了します。

IP 取得リトライ回数

IP 取得時のリトライ回数を設定します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
ﾕｳｾﾝ LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ﾑｾﾝ LAN
▼
ﾑｾﾝ LAN ｵﾝ / ｵﾌ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP ｵﾝ / ｵﾌ

5 またはを押して【IP セッテイリトライ】を選択し、

を押します。

液晶ディスプレイの右端に【*】が表示されます。【*】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【3】になっています。

IP ｾｯﾃｲﾘﾄﾗｲ
▼
=3 *

6 またはを押してリトライ回数を変更し、を押します。

リトライ回数の設定が確定されます。

=3
▼
=5 *

7 を押します。

設定メニューを終了します。

IP 取得方法

IP の取得方法を設定します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
ﾕｳｾﾝ LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ﾑｾﾝ LAN
▼
ﾑｾﾝ LAN ｵﾝ / ｵﾌ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP ｵﾝ / ｵﾌ

5 またはを押して【IP セッテイホウホウ】を選択し、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オート】になっています。

IP ｾｯﾃｲﾎｳﾎｳ
▼
= ｵｰﾄ ＊

6 またはを押して【オート】、【コテイ】、【RARP】、【BOOTP】、【DHCP】から選択し、を押します。
IP の取得方法の設定が確定されます。

= ｵｰﾄ
▼
= ｺﾃｲ ＊

7 を押します。

設定メニューを終了します。

APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA（AutoIP）機能によって本機に IP アドレスを自動的に割り当てることができます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Professional や操作パネルから IP アドレスを変更してください。P.12-2

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデキマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
ユウセン LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN
▼
ムセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【APIPA オン / オフ】を選択し、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オン】になっています。

APIPA オン / オフ
▼
= オン　＊

6 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、

を押します。

APIPA の設定が確定されます。

= オン
▼
= オフ　＊

7 を押します。

設定メニューを終了します。



IP アドレスの自動設定機能（APIPA）

- APIPA プロトコルを使用していると、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
  サブネットマスク：255.255.0.0
  ゲートウェイ：0.0.0.0
- APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、APIPA 機能を無効にします。
- お買い上げ時は、APIPA プロトコルは使用可能に設定されています。

IPv 6

本機は次世代インターネットプロトコル IPv 6 に対応しています。
IPv 6 についての詳細は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）を参照してください。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
ユウセン LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN
▼
ムセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【TCP/IP】を選択し、を押します。

TCP/IP
▼
TCP/IP オン / オフ

5 またはを押して【IPV6 オン / オフ】を選択し、を押します。

液晶ディスプレイの右端に【*】が表示されます。【*】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オフ】になっています。

IPV6 オン / オフ
▼
= オフ　　　　*

6 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、を押します。

IPv6 の設定が確定されます。

= オフ
▼
= オン　　　　*

7 を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

NetBIOS/IP の設定

本機は TCP/IP 上（NetBIOS 経由）で SMB（Server Message Block）をサポートしています。これにより、ネットワークの検索時に通常の Windows パソコン のように本機を表示させることができます。このように NetBIOS を使用した場合、Microsoft Network に接続しているパソコンの DOS アプリケーションから印刷することができます。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデ キマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
ユウセン LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ムセン LAN
▼
ムセン LAN オン / オフ

4 またはを押して【NETBIOS/IP オン / オフ】を選択し、を押します。

NETBIOS/IP オン / オフ
▼
= オン *

液晶ディスプレイの右端に【＊】が表示されます。【＊】は現在の設定値を示します。
お買い上げ時は【オン】になっています。

5 またはを押して【オン】または【オフ】を選択し、を押します。

= オン
▼
= オフ *

NETBIOS/IP の設定が確定されます。

6 を押します。

設定メニューを終了します。



設定を変更した場合は、電源を入れ直した後に設定が有効になります。

無線設定リセット

ネットワーク設定リセット

現在のネットワーク設定を全て初期化できます。

HL-5270DN/HL-5280DW の場合

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

インサツデキマス
▼
インフォメーション

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ネットワーク
▼
ムセン LAN

3 またはを押して【コウジョウリセット】を選択し、を押します。

コウジョウリセット
▼
OK?

4 再度を押します。

設定メニューを終了します。



ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする他の方法

- BRAdmin Proffessional（Windows 専用）または BRAdmin Light（Macintosh 専用）を使用する。
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」P.5-1 を参照してください。

HL-5250DN の場合

1 プリンタの電源を切ります。

2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

3 プリンタの電源を入れて、（Go）を押し続けます。

すべてのランプが点灯し、その後、Status ランプが消灯します。

4 （Go）を離します。

すべてのランプが消灯することを確認します。

5 （Go）を 6 回押します。

すべてのランプが点灯することを確認します。
（プリントサーバーが工場出荷時の状態に戻ったことを示します。）

無線 LAN のみリセット

現在の無線 LAN 設定で操作パネルから設定可能な項目のみを全て初期化できます。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
▼
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 またはを押して【ネットワーク】を選択し、を押します。

ﾈｯﾄﾜｰｸ
▼
ﾕｳｾﾝ LAN

3 またはを押して【ムセン LAN】を選択し、を押します。

ﾑｾﾝ LAN
▼
TCP/IP

4 またはを押して【ムセン セッテイ リセット】を選択し、を押します。

ﾑｾﾝ ｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ
▼
OK?

5 再度を押します。

設定メニューを終了します。

設定一覧の印刷

本機の設定メニューと設定値は、次の方法で印刷します。

1 、、、のいずれかを押します。

オフラインに切り替わり、モードが表示されます。

ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ



ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ

2 【インフォメーション】が表示されていることを確認して、を押します。

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ



ｾｯﾃｲﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ

3 【セッテイリスト インサツ】が表示されていることを確認して、を押します。

ｾｯﾃｲﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ

設定メニューと設定値のリストが印刷されます。

第 4 章 アドホックモードに設定する（HL-5280DW のみ）

付属の CD-ROM 内のブラザー自動インストールアプリケーションを使用し、アドホックモードの無線 LAN で本機をインストールする場合は、以降の手順に従ってください。
無線ルータや IP アドレスの指定用 DHCP のアクセスポイントを使用したインフラストラクチャモードで本機を設定する場合は、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

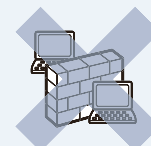
Windows 98/Me/2000/XP、Winsows NT 4.0 の場合



本機の無線 LAN 設定が既に設定してある場合は、本設定をする前に、操作パネルにてネットワーク設定をリセットしてください。操作方法は、「ネットワーク設定リセット」P.3-23 を参照してください。



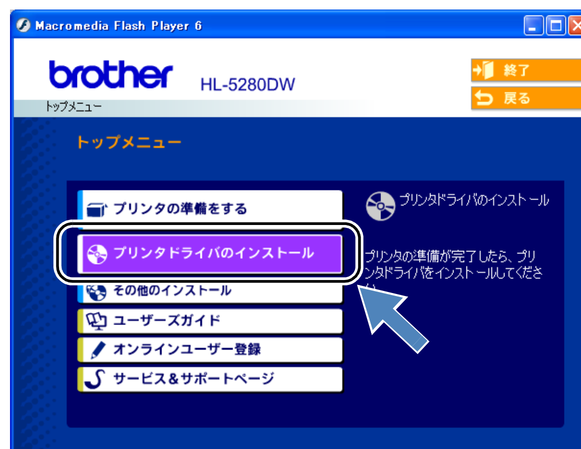
- プリンタドライバをインストールする前に、ネットワーク管理者にネットワーク環境の設定が完了していることを確認してください。
- パーソナルファイアウォール機能について
  パソコンに市販のファイアウォールなどの機能を有するソフトウェアをインストールしている場合は、一旦停止させてからプリンタドライバをインストールしてください。設定の詳細はソフトウェア販売元へご相談ください。
- Windows XP のパーソナルファイアウォール機能について
  Windows XP で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、一旦無効に設定してからプリンタドライバをインストールしてください。
  詳しい設定方法については、「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールの問題」P.11-8 を参照してください。



1 本機の電源を入れます。

2 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

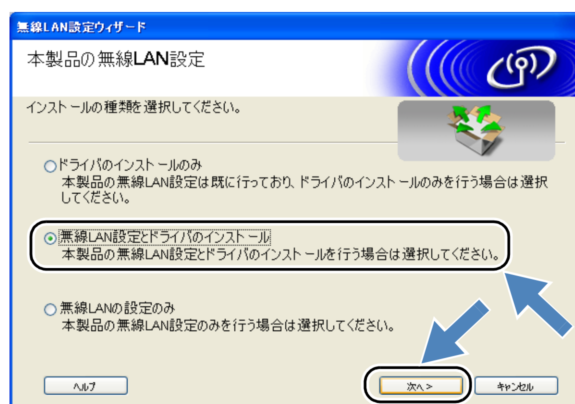
3 ［プリンタドライバのインストール］をクリックします。



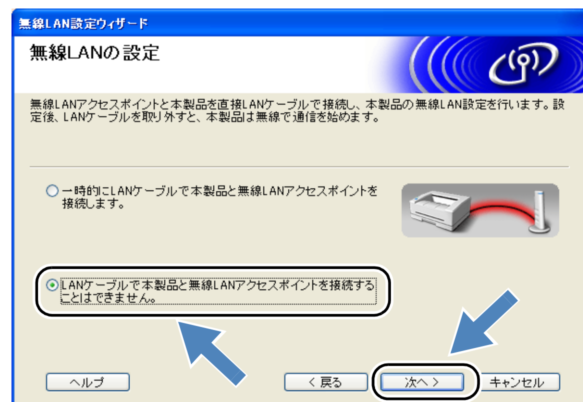
4 [ネットワーク（無線）の場合] をクリックします。



5 [無線 LAN 設定とドライバのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。



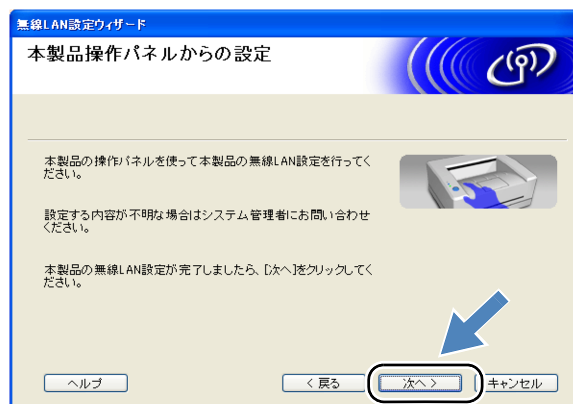
6 [LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続することはできません] を選び、[次へ] をクリックします。



7 [このパソコンの無線 LAN 機能を使用する] を選び、「無線 LAN アクセスポイントをインフラストラクチャ通信で使用している」のチェックを外します。
[次へ] をクリックします。



［このパソコンは LAN ケーブルで接続されている］を選んだ場合は、本機の操作パネルを使って無線 LAN 設定を行ってください。（「第 3 章 無線 LAN で設定する（HL-5280DW のみ）」を参照してください。）
［次へ］をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。
設定後は手順 16 へ進んでください。

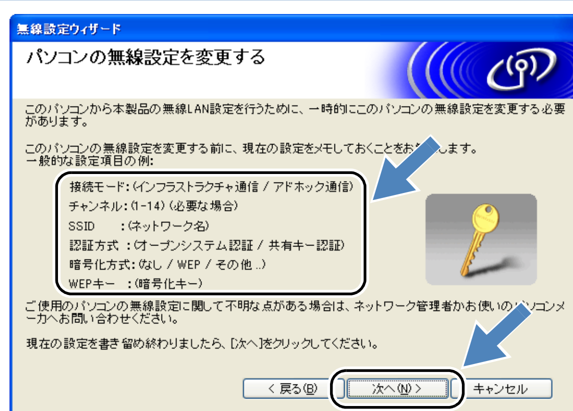




8 パソコンから本機の無線 LAN 設定を行うために、一時的にパソコンの無線設定を変更する必要があります。今後また無線 LAN 設定を最初の状態に戻すときのために、右の画面の項目と現在の設定をメモしておくことをおすすめします。書き留め終わりましたら、［次へ］をクリックしてください。

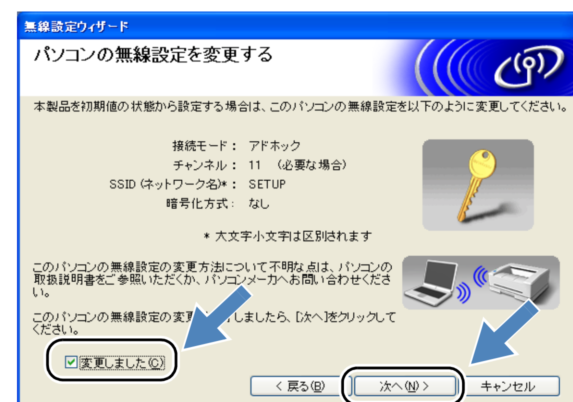
現在の設定をメモしておく項目

- 接続モード
- チャンネル
- SSID
- 認証方式
- 暗号化方式
- WEP キー



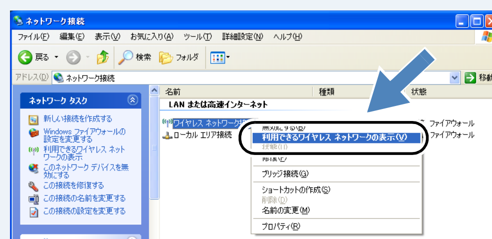


9 画面の指示に従ってパソコンの無線設定を変更してください。無線設定の変更が完了しましたら「変更しました」をチェックし、［次へ］をクリックします。

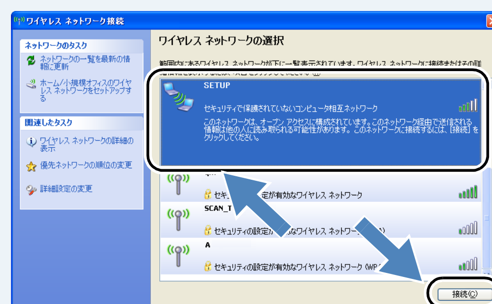


メモ

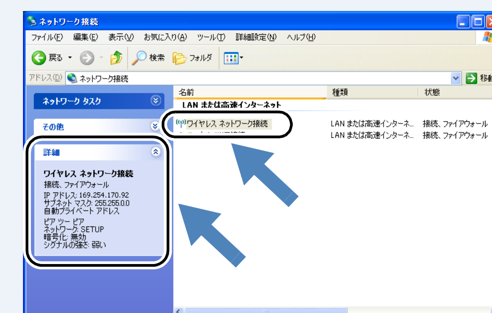
- 無線設定の変更に関しては、お使いのパソコンまたはネットワークインターフェースの取扱説明書を参照してください。
- パソコンの無線設定の変更後、パソコンの再起動を促す画面が表示された場合は、パソコンを再起動し、手順 3 からはじめてください。
- Windows XP SP2 をお使いの方は、下記の方法によりパソコンの無線設定を変更してください。
  ① ［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックします。
  ② ［ネットワーク接続］をクリックします。
  ③ ［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックします。ポップアップメニューから［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックします。



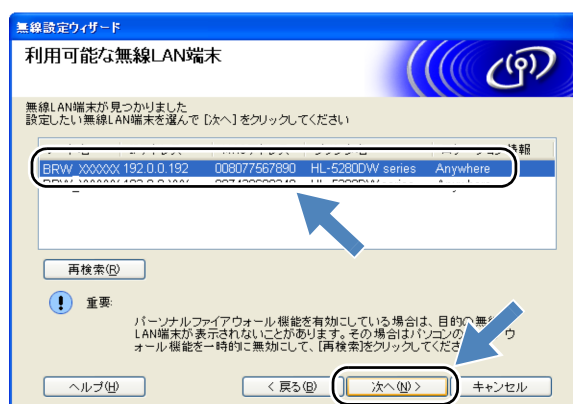
  ④ ブラザーワイヤレス機器が表示されますので［SETUP］選んで［接続］をクリックします。



  ⑤ ワイヤレスネットワーク接続状況を確認します。ネットワークを認識し、IP アドレスが 0.0.0.0 から 169.254.x.x と表示されるまでには、数分かかることがあります。（x.x は、0 ～ 254 までの数字です。）



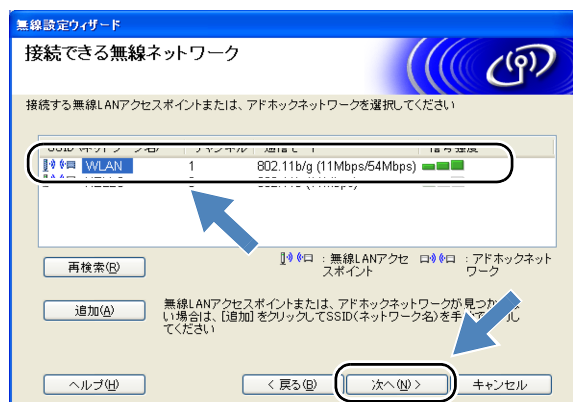
10 2 台以上の利用可能な無線 LAN 端末がみつかった場合は、一覧が表示されます。本機を選び、［次へ］をクリックします。





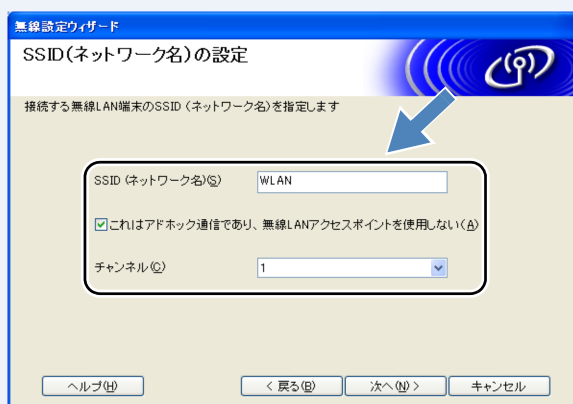
- 本機のノード名のお買い上げ時の設定は「BRW_xxxxxx」(「xxxxxx」は MAC アドレス)の末尾 6 桁です。)
- パーソナルファイアウォールを使用している場合は、一時的に停止させてください。
- 一覧に何も表示されない場合は、本機の電源が入っていることと、ネットワークケーブルが外れていることを確認してから、[再検索]をクリックしてください。

11 接続可能な無線ネットワークが表示されます。
接続する無線 LAN アクセスポイントまたはアドホックネットワークを選び、[次へ]をクリックします。
接続可能な無線ネットワークがない場合は、新しく設定する必要があります。
その場合は、手順 14 へ進んでください。

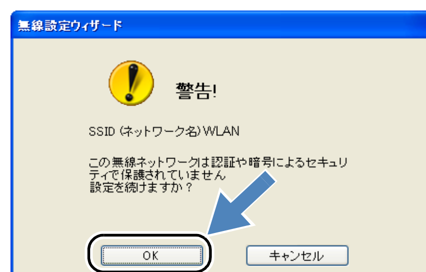




- [SETUP]は本機のお買い上げ時の SSID です。[SETUP]は選択しないでください。
- 一覧に何も表示されない場合は、本機が無線 LAN アクセスポイントの通信可能範囲内にあることを確認してから、[再検索]をクリックしてください。
- 接続先の無線ネットワークが表示されない場合は、[追加]をクリックして手動で追加することができます。その場合は、「これはアドホック通信であり、無線 LAN アクセスポイントを使用しない」をチェックして、[SSID(ネットワーク名)]と[チャンネル]を入力してください。



12 選択したネットワークに認証や暗号によるセキュリティ設定がされていない場合は、右の画面が表示されます。
インストールを続ける場合は[OK]をクリックし、手順 15 へ進んでください。



13 選択したネットワークに認証や暗号によるセキュリティ設定がされている場合は、右の画面が表示されます。ご使用の無線ネットワークの認証方式と暗号化方式に適した設定にしてください。
各設定ボックスのプルダウンメニューから「認証方式」と「暗号化方式」を選択します。次に「ネットワークキー」と「ネットワークキー（確認用）」を入力し、［次へ］をクリックします。
手順 15 へ進んでください。



- インデックス番号が 1 以外の WEP キーが必要な場合は、［詳細］をクリックします。
- ネットワークの認証方式と暗号化方式については、ネットワーク管理者に確認してください。

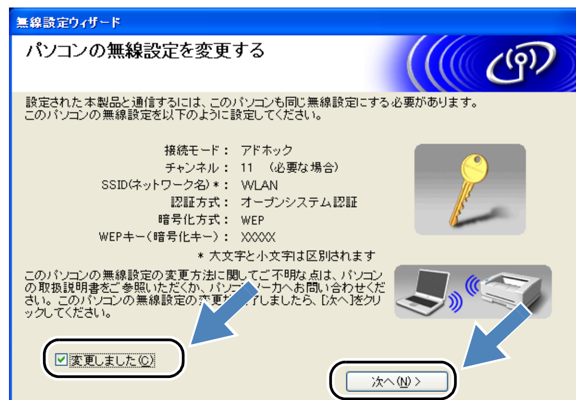
14 新しい SSID を入力します。
各設定ボックスのプルダウンメニューから「認証方式」と「暗号化方式」を選択します。次に「ネットワークキー」と「ネットワークキー（確認用）」を入力し、［次へ］をクリックします。

15 表示された設定内容を確認し、［次へ］をクリックします。
［キャンセル］をクリックした場合は、設定は変更されません。



IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックし、必要な IP アドレスを入力します。入力後、［次へ］をクリックすると、この画面に戻ります。

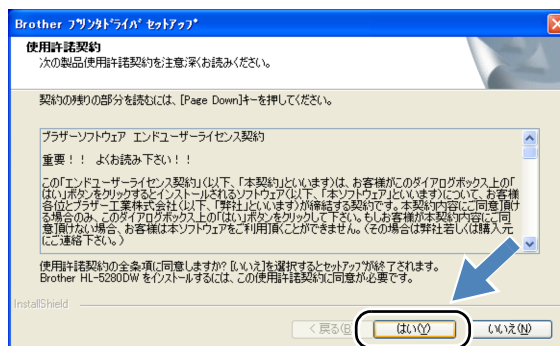
16 無線設定を、画面で表示された通りに変更して、最初の状態に戻します。
「変更しました」にチェックをして、[次へ] をクリックします。





このとき画面には、お客様が本機に設定した内容が表示されるため、上の画面の通りではありません。また、WEP キー（暗号化キー）は安全のため「XXXXX」と表示されます。パソコンには手順 13 で設定した WEP キー（暗号化キー）を入力してください。

17 ドライバのインストールが開始されます。使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックします。
画面の指示に従ってください





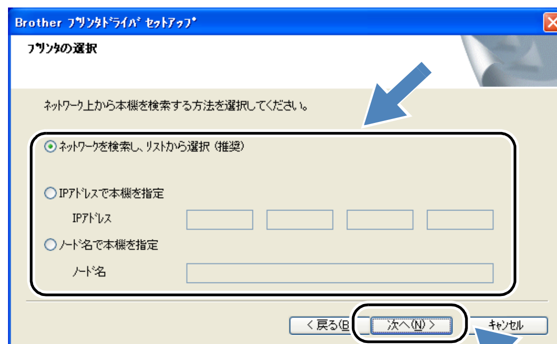
インストールの途中でキャンセルをしないでください。

18 [標準インストール] を選び、[次へ] をクリックします。



19 LPR をお使いの方：
［ネットワークを検索し、リストから選択（推奨）］を選ぶか、本機の IP アドレスまたはノード名を入力し、［次へ］をクリックします。

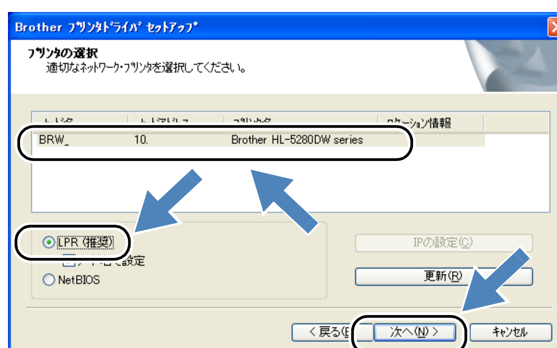
NetBIOS をお使いの方：
［ネットワークを検索し、リストから選択（推奨）］を選び、［次へ］をクリックします。



20 LPR をお使いの方：
本機を選び、［LPR（推奨）］を選びます。［次へ］をクリックします。



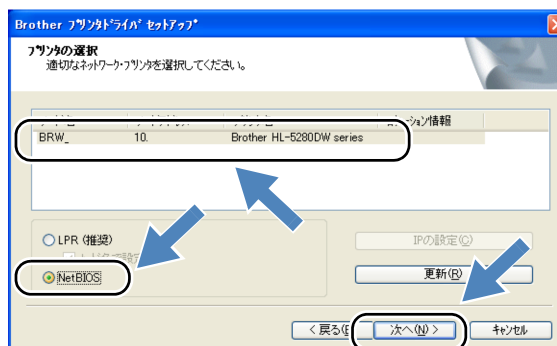
しばらくの間（約 1 分程度）何も表示されない場合は、［再検索］をクリックしてください。



NetBIOS をお使いの方：
本機を選び、［NetBIOS］を選びます。
［次へ］をクリックします。



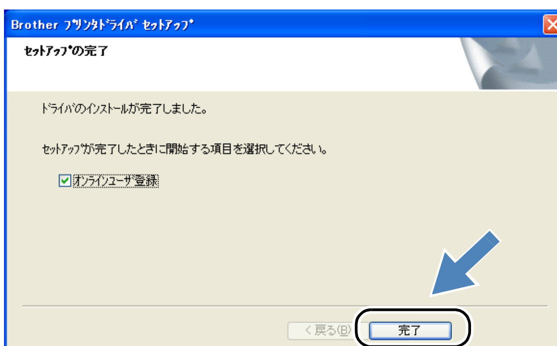
しばらくの間（約 1 分程度）何も表示されない場合は、［再検索］をクリックしてください。



21 ［完了］をクリックします。



- セットアップの完了後、すぐにユーザー登録をする場合は、［オンラインユーザ登録］をチェックしてください。
- パーソナルファイアウォールが停止している場合は、再起動してください。



● Windows NT 4.0 および Windows 2000 / XP をご使用の場合
これで本機のセットアップは完了しました。

● Windows 98/Me をご使用の場合
パソコンを再起動してください。
これで本機のセットアップは完了しました。

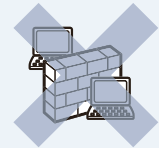
Mac OS X 10.2.4 以降の場合



本機の無線 LAN 設定が既に設定してある場合は、本設定をする前に、操作パネルにてネットワーク設定をリセットしてください。操作方法は、「ネットワーク設定リセット」P.3-23 を参照してください。



- プリンタドライバをインストールする前に、ネットワーク管理者にネットワーク環境の設定が完了していることを確認してください。
- パーソナルファイアウォール機能について
  パソコンに市販のファイアウォールなどの機能を有するソフトウェアをインストールしている場合は、一旦停止させてからプリンタドライバをインストールしてください。設定の詳細はソフトウェア販売元へご相談ください。

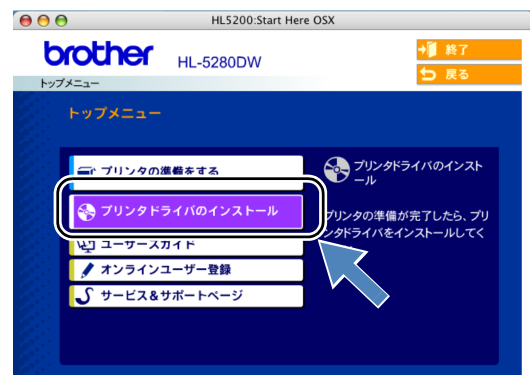


1 本機の電源を入れます。

2 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

3 ［Start Here OSX］をダブルクリックします。

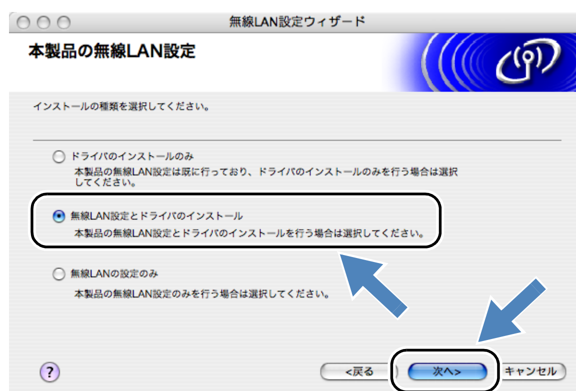
4 ［プリンタドライバのインストール］をクリックします。



5 ［ネットワーク（無線）の場合］をクリックします。



6 ［無線 LAN 設定とドライバのインストール］を選び、［次へ］をクリックします。



7 ［LAN ケーブルで本製品と無線 LAN アクセスポイントを接続することはできません］を選び、［次へ］をクリックします。



8 ［このパソコンの無線 LAN 機能を使用する］を選び、「無線 LAN アクセスポイントをインフラストラクチャ通信で使用している」のチェックを外します。
［次へ］をクリックします。



［このパソコンは LAN ケーブルで接続されている］を選んだ場合は、本機の操作パネルを使って無線 LAN 設定を行ってください。（「第 3 章 無線 LAN で設定する（HL-5280DW のみ）」を参照してください。）
［次へ］をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。
設定後は手順 18 へ進んでください。

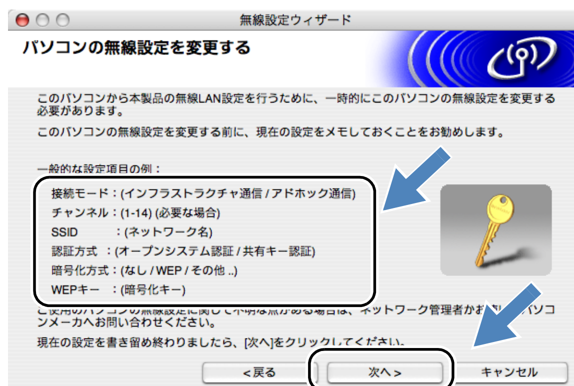


9

パソコンから本機の無線 LAN 設定を行うために、一時的にパソコンの無線設定を変更する必要があります。今後また無線 LAN 設定を最初の状態に戻すときのために、右の画面の項目と現在の設定をメモしておくことをおすすめします。書き留め終わりましたら、［次へ］をクリックしてください。

現在の設定をメモしておく項目

- 接続モード
- チャンネル
- SSID
- 認証方式
- 暗号化方式
- WEP キー



10

画面の指示に従ってパソコンの無線設定を変更してください。
無線設定の変更が完了しましたら「変更しました」をチェックし、［次へ］をクリックします。





- 無線設定の変更に関しては、お使いのパソコンまたはネットワークインターフェースの取扱説明書を参照してください。
- 次の方法によりパソコンの無線 LAN 設定を変更してください。

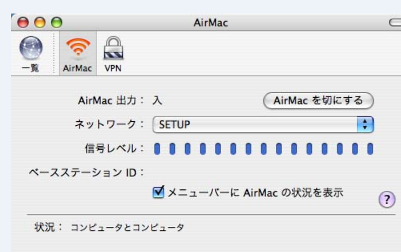
  ① ［AirMac］アイコンから［“インターネット接続”を開く］をクリックします。



  ② ［ネットワーク］タブをクリックし、プルダウンメニューから［SETUP］をクリックします。

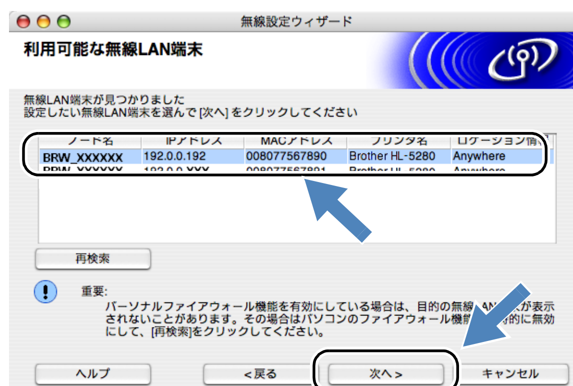


  ③ 無線ネットワークは接続されました。



11

2 台以上の利用可能な無線 LAN 端末がみつかった場合は、一覧が表示されます。
本機を選び［次へ］をクリックします。



- 本機のノード名のお買い上げ時の設定は「BRW_xxxxxx」（「xxxxxx」は MAC アドレスの末尾 6 桁）です。
- パーソナルファイアウォールを使用している場合は、一時的に停止させてください。
- 一覧に何も表示されない場合は、本機の電源が入っていることと、ネットワークケーブルが外れていることを確認してから、［再検索］をクリックしてください。

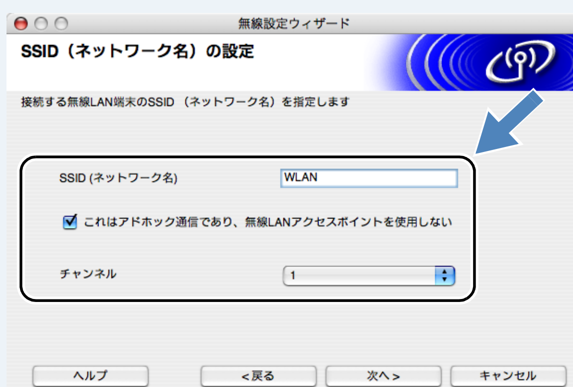
12

接続可能な無線ネットワークが表示されます。
接続する無線 LAN アクセスポイントまたはアドホックネットワークを選び［次へ］をクリックします。

接続可能な無線ネットワークがない場合は、新しく設定する必要があります。
その場合は、手順 15 へ進んでください。



- ［SETUP］は本機のお買い上げ時の SSID です。［SETUP］は選択しないでください。
- 一覧に何も表示されない場合は、本機が無線 LAN アクセスポイントの通信可能範囲内にあることを確認してから、［再検索］をクリックしてください。
- 接続先の無線ネットワークが表示されない場合は、［追加］をクリックして手動で追加することができます。その場合は、「これはアドホック通信であり、無線 LAN アクセスポイントを使用しない」をチェックして、［SSID（ネットワーク名）］と［チャンネル］を入力してください。



13 選択したネットワークに認証や暗号によるセキュリティ設定がされていない場合は、右の画面が表示されます。
インストールを続ける場合は［OK］をクリックし、手順 16 へ進んでください。



14 選択したネットワークに認証や暗号によるセキュリティ設定がされている場合は、右の画面が表示されます。ご使用の無線ネットワークの認証方式と暗号化方式に適した設定にしてください。
各設定ボックスのプルダウンメニューから「認証方式」と「暗号化方式」を選択します。次に「WEP キー」と「WEP キー（確認用）」を入力し、［次へ］をクリックします。
手順 16 へ進んでください。



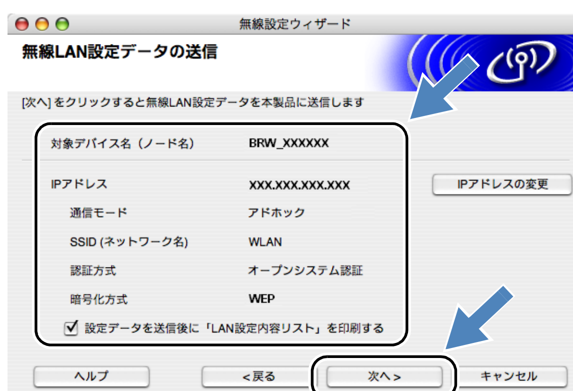


- インデックス番号が 1 以外の WEP キーが必要な場合は、［詳細］を（クリックします。
- ネットワークの認証方式と暗号化方式については、ネットワーク管理者に確認してください。

15 新しい SSID を入力します。
各設定ボックスのプルダウンメニューから「認証方式」と「暗号化方式」を選択します。次に「WEP キー」と「WEP キー（確認用）」を入力し、［次へ］をクリックします。



16 表示された設定内容を確認し、［次へ］をクリックします。
［キャンセル］をクリックした場合は、設定は変更されません。





IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックし、必要な IP アドレスを入力します。入力後、［次へ］をクリックすると、この画面に戻ります。

17 無線設定を、画面に表示された通りに変更して、最初の状態に戻します。「変更しました」にチェックをして、［次へ］をクリックします。





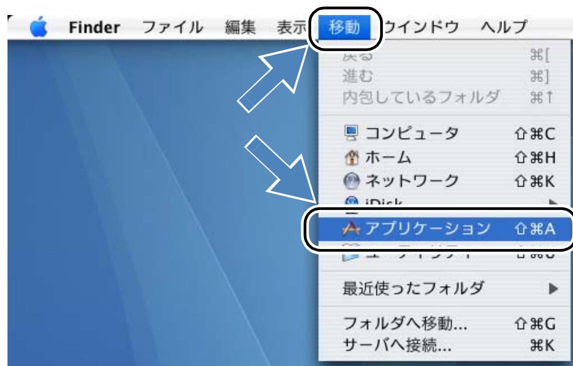
このとき画面には、お客様が本機に設定した内容が表示されるため、上の画面の通りではありません。また、WEP キー（暗号化キー）は安全のため「XXXXX」と表示されます。パソコンには手順 13 で設定した WEP キー（暗号化キー）を入力してください。

18 ドライバーのインストールが開始されます。画面の指示に従ってください。
インストールが完了したら、Macintosh を再起動します。



インストールの途中でキャンセルをしないでください。

19 ［移動］メニューから［アプリケーション］を選択します。



20 ［ユーティリティ］を開きます。



21 ［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

- Mac OS X 10.2 をご使用の場合
  ［プリントセンター］を開きます。



22 ［追加］をクリックします。

- Mac OS X 10.4 の場合
  手順 22 へ進みます。



23 Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3 の場合
右の画面の通り選択します。

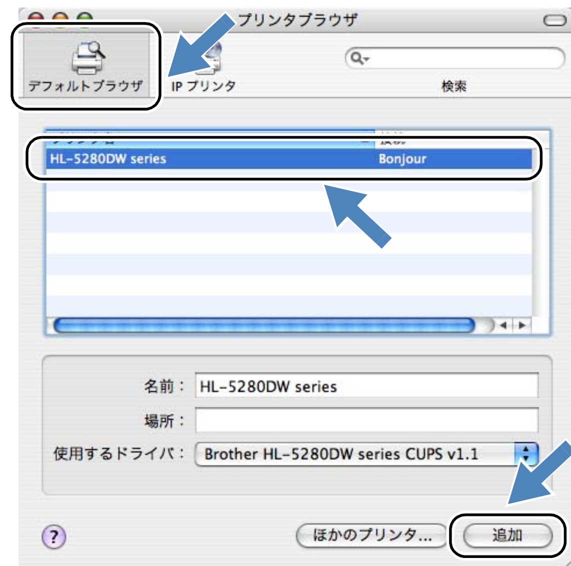


24 リストから［HL5280DW series］を選び、［追加］をクリックします。

- Mac OS X 10.2 ～ 10.3 の場合



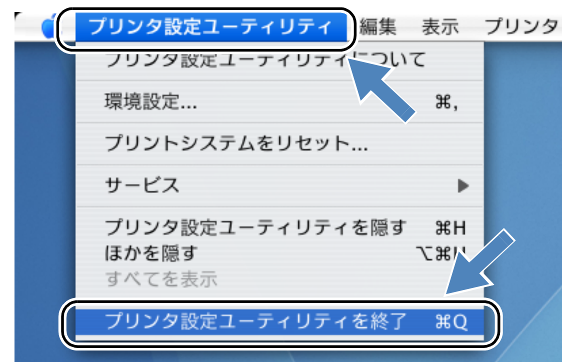
● Mac OS X 10.4 以上の場合

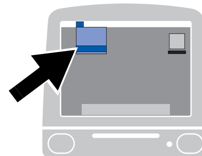




2 台以上同じ機種のプリンタ（HL-5280DW）がネットワークに接続されている場合は、機種名（HL-5280DW）の後に MAC アドレスが表示されます。

25 ［プリンタ設定ユーティリティ］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］を選びます。





● Mac OS X 10.2 をご使用の場合
［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選びます。

これでプリンタのセットアップは完了しました。

第 5 章 ウェブブラウザで管理する

概要

標準のブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）プロトコルを使用して、本機を管理することができます。使用するブラウザは Netscape Navigator バージョン 7.1 以降または Internet Explorer バージョン 6.0 以降をおすすめします。

ウェブブラウザは、ほとんどのコンピューティングプラットフォーム上で使用することができますので、Macintosh のユーザもブラウザを使用して本機を管理できます。

ウェブブラウザを使用して、次の情報を本機から取得することができます。

1. 本機のステータス情報
2. 本機のコントロールパネルの制御
3. 本機とネットワークのバージョン情報
4. ネットワーク設定と本機の設定の変更

●条件

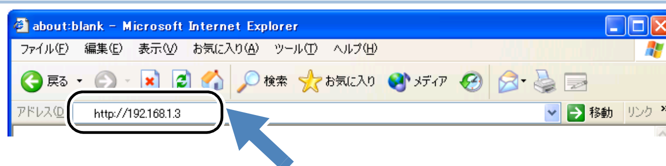
- パソコンが TCP/IP プロトコルを使用可能なこと
- パソコンに LAN ボードが装備され、ネットワークに接続可能なこと
- 本機とパソコンに有効な IP アドレスを設定していること

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、アドレスに本機の IP アドレスを入力します。P.5-2

ブラウザを使用して本機に接続する方法

1 ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（[ip_address] はご使用になるプリンタの IP アドレス）と入力します。

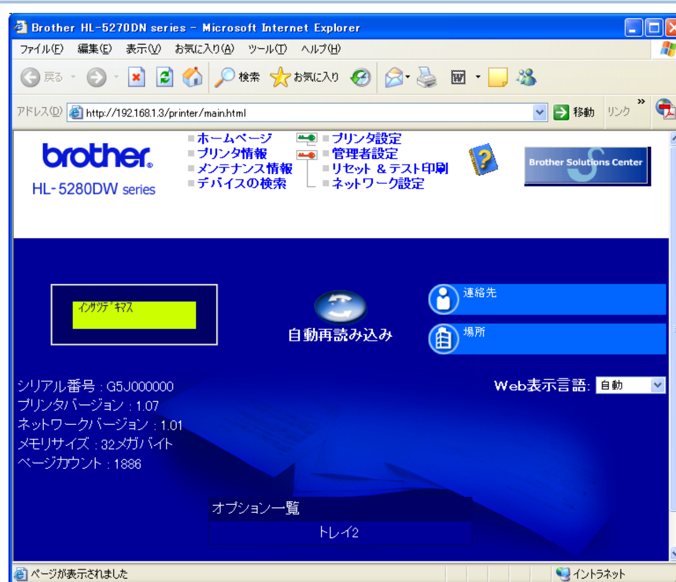


例） 本機の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　　ブラウザに http://192.168.1.3 と入力します。

- Windows のドメイン / ワークグループ環境の場合は、本機の NetBIOS 名を使用することもできます。
- DNS プロトコルを使用するネットワークに接続されている本機の場合は、本機の DNS 名を入力します。

2 本機の設定画面が表示されます。
目的の本機の管理機能へのリンクをクリックします。

- 本機の IP アドレスを変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。
- 本機の設定を表示する場合は、［プリンタ情報］をクリックします。



メモ
設定関連のリンクをクリックすると、パスワードの入力を要求されます。
ユーザ名は“admin”、お買い上げ時のパスワードは "access" です。

Windows 編

第 6 章 ネットワークプリンタとして使う

LPR で印刷する

Windows 2000/XP の場合

「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。インストーラーを使わずにプリンタドライバのみインストールする場合は、以下の手順で設定してください。
Windows 2000/XP の場合は、標準でインストールされている TCP/IP というプロトコルを使用して、本機をネットワーク上で利用できます。

●プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP とは

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IP は、ファイルやプリンタの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

ポートの追加とプリンタの関連付けを行う

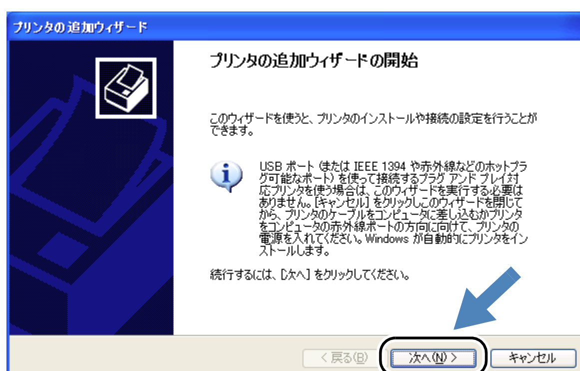
「プリンタの追加ウィザード」で本機へのポートの追加とプリンタドライバのインストールを行います。
すでにパソコンへプリンタドライバをインストールしている場合は、「プリンタドライバがすでにインストールされているときは」P.6-7 を参照してください。

1 [スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選び、「プリンタのインストール」をクリックします。

● Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] − [プリンタ] の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

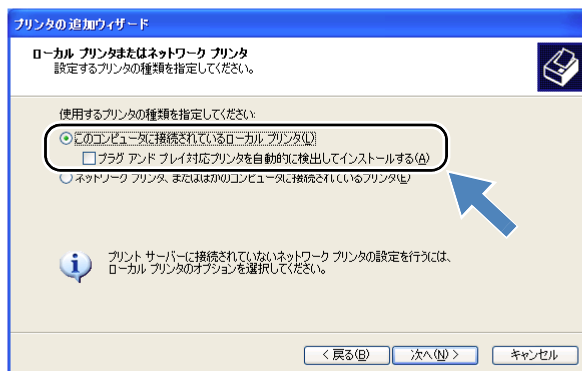
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

2 [次へ] をクリックします。



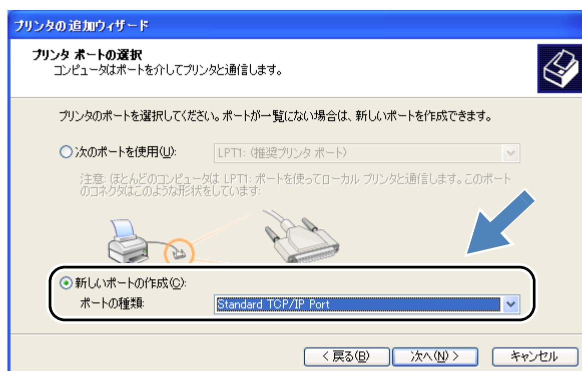
3 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを OFF にします。

● Windows 2000 の場合は、「ローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを OFF にします。



4 ［次へ］をクリックします。

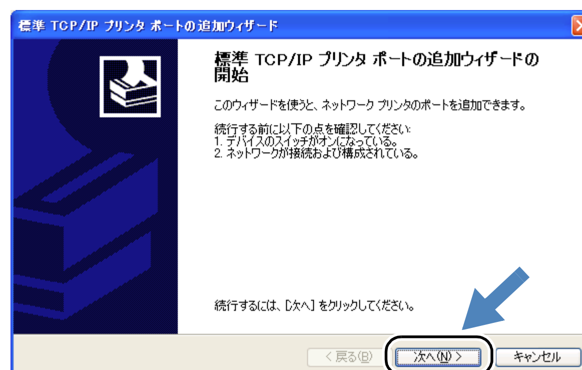
5 「新しいポートの作成」をクリックし、「ポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選びます。



6 ［次へ］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

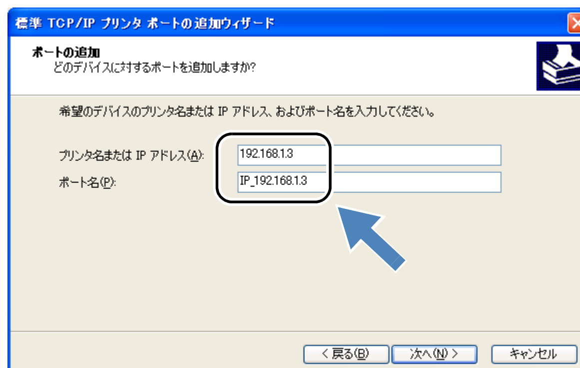
7 ［次へ］をクリックします。



8 本機の「プリンタ名または IP アドレス」を入力します。

「ポート名」は自動的に入力されます。

例） 192.168.1.3 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［IP_192.168.1.3］が入力されます。





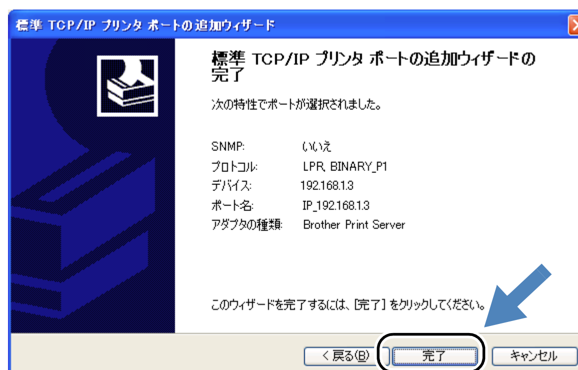
- 本機の IP アドレスが DHCP などで自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをお勧めします。本機のノード名は、BRAdmin Professional または設定一覧P.2-20で確認できます。

9 ［次へ］をクリックします。

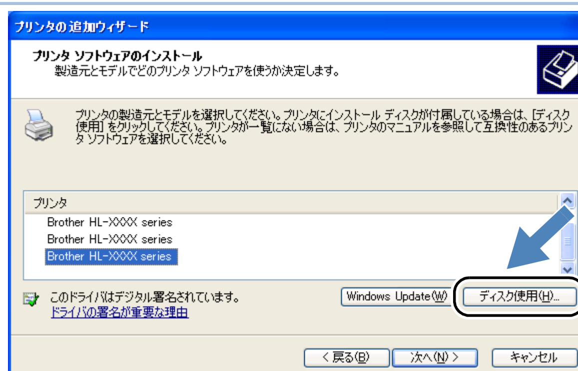
入力したプリンタ名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。正しい内容を入力し直してください。

10 ［完了］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンタの追加ウィザード」に戻ります。



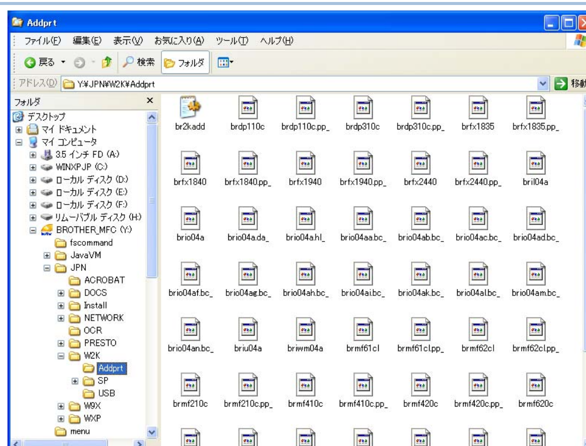
11 ［ディスク使用］をクリックします。



12 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

13 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタドライバの保存フォルダを選びます。

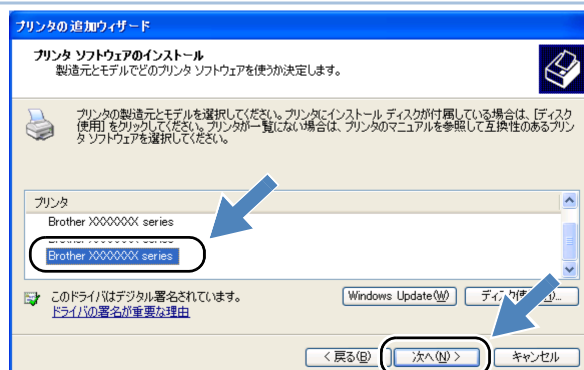
- Windows 2000：¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows XP：¥JPN¥WXP¥Addprt



14 ［開く］をクリックします。

15 ［OK］をクリックします。

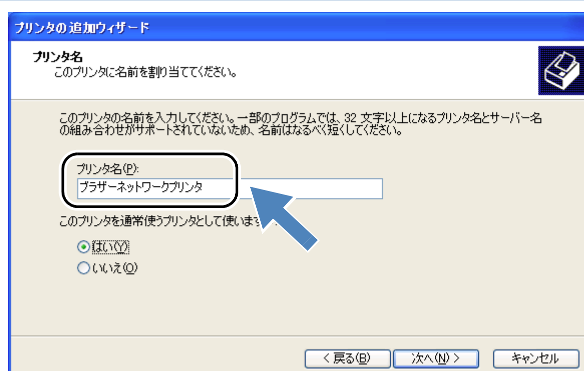
16 プリンタのリストからお使いのモデル名を選び、［次へ］をクリックします。



メモ

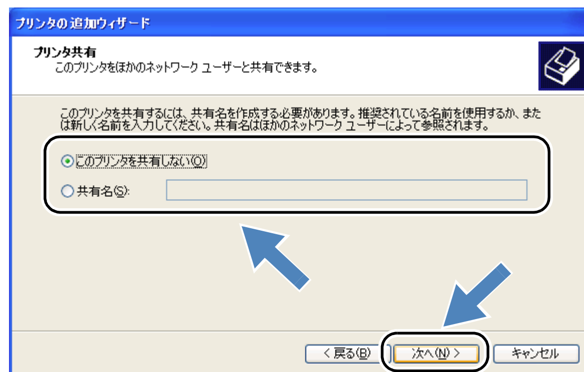
- パソコンがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
「現在のドライバを使う（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。

17 必要に応じて、「プリンタ名」を変更します。
例）ブラザーネットワークプリンタ



18 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選び、［次へ］をクリックします。

19 本機を共有するかどうかを選び、共有する場合は「共有名」を入力して、［次へ］をクリックします。

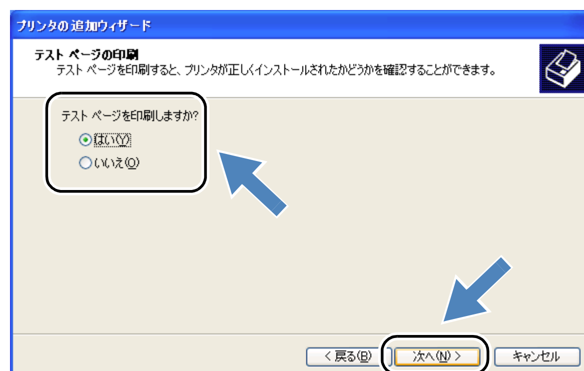




共有した場合は、必要に応じて「場所」と「コメント」を入力して、［次へ］をクリックします。

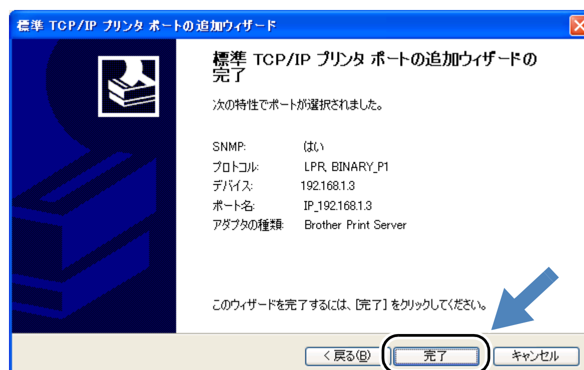
20 テストページを印刷するかどうかを選び、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選んだ場合は、あとでテスト印刷を行い、正しく印刷されるか確認してください。



21 ［完了］をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」での設定が終了しました。





プリンタドライバがすでにインストールされているときは

以下の手順でポートの追加と本機の関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。

② ［ファイル］メニューから［プロパティ］を選びます。

③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

④ ［Standard TCP/IP Port］を選び、［新しいポート］をクリックします。
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

⑤「ポートの追加とプリンタの関連付けを行う」の手順 7 ～ 10 P.6-3 を実行します。

Windows 95/98/Me の場合

Windows 95/98/Me の場合は、TCP/IP プロトコルをパソコンにインストールし、追加ソフトウェアの「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェア」で IP アドレスの設定を行います。

TCP/IP プロトコルを追加する

Windows 95/98/Me へ TCP/IP プロトコルを追加します。
「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックして［ネットワークの設定］タブをクリックします。「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP」がないときには、以下の手順に従って追加してください。
すでに「TCP/IP」があるときは、「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール」P.6-9 へ進みます。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］を選び、「ネットワーク」をダブルクリックします。

2 ［ネットワークの設定］タブで、［追加］をクリックします。

3 「プロトコル」を選び、［追加］をクリックします。

4 「製造元」で「Microsoft」を選び、「ネットワークプロトコル」で［TCP/IP］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。
「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP」が追加されます。



必要なファイルをコピーするため Windows 95/98/Me のディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示に従ってフロッピーディスクまたは CD-ROM を挿入してください。

6 「現在のネットワークコンポーネント」の「TCP/IP」を選び、［プロパティ］をクリックします。

7 IP アドレスなどの必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。
入力する情報がわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8 ［OK］をクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。

9 ［はい］をクリックします。
パソコンが再起動し、TCP/IP が追加されます。

ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアをインストールします。

1 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

- 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックします。
- すでに TCP/IP がある場合は、手順 6 へ進んでください。

2 お使いのモデル名をクリックします。

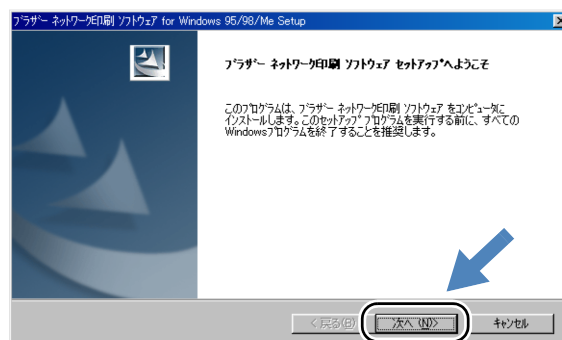
3 ［その他のインストール］をクリックします。

4 「ネットワーク印刷ソフトウェア」をクリックします。

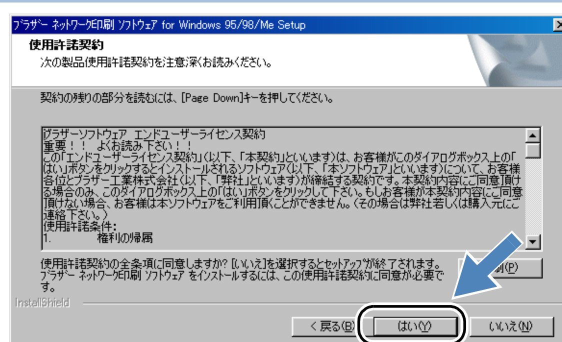
5 「ネットワークプリントソフトウェア」をクリックします。

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

6 ［次へ］をクリックします。

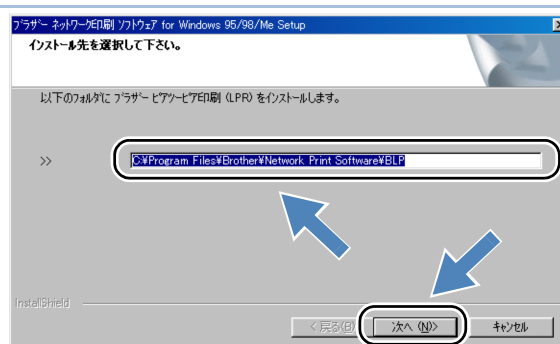


7 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。



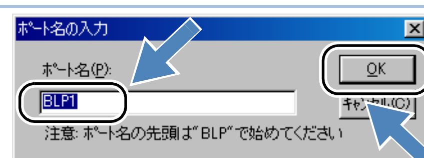
8 ファイルをインストールするフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

- 変更する場合は、インストールするフォルダのパスを入力します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。



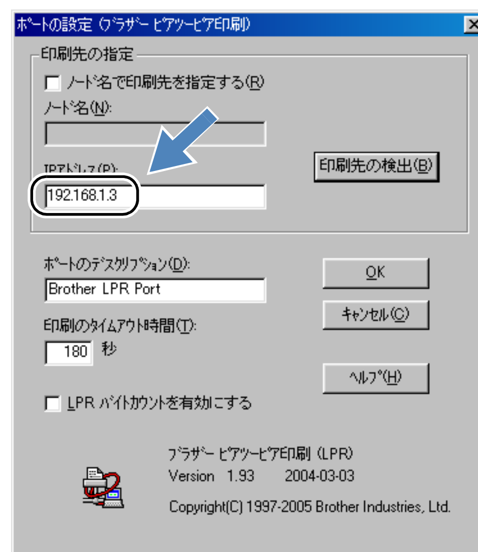
9 使用するポート名を確認し、［OK］をクリックします。

別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。



10 「IP アドレス」に、本機の IP アドレスを入力します。

例）192.168.1.3



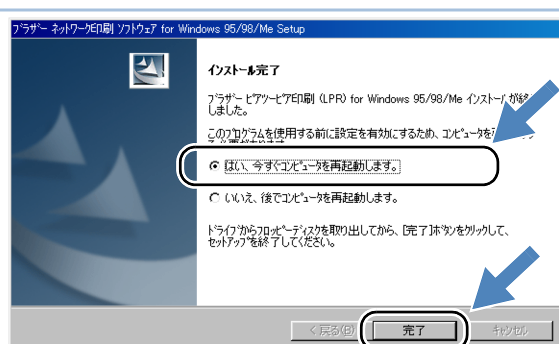


本機の IP アドレスが DHCP などで自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをお勧めします。本機のノード名は、BRAdmin Professional または設定一覧P.2-20で確認できます。

11 ［OK］をクリックします。

12 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選び、［完了］をクリックします。

パソコンが再起動し、ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストールが完了します。



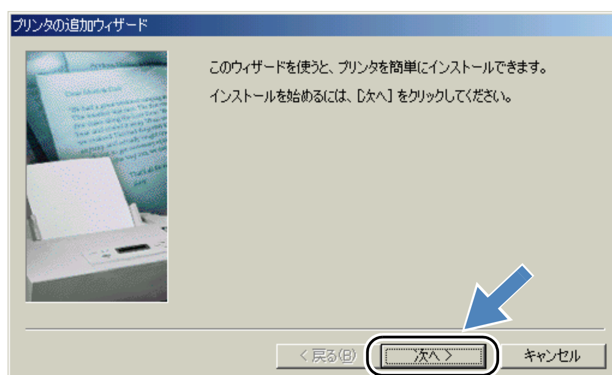
プリンタの関連付け

「プリンタの追加ウィザード」で追加したポートと本機の関連付けを行います。

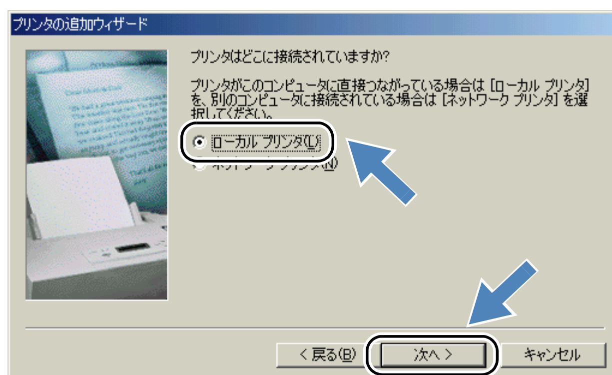
1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

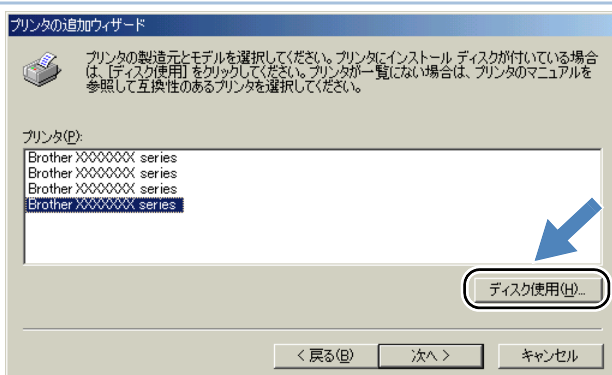
2 ［次へ］をクリックします。



3 「ローカルプリンタ」を選び、［次へ］をクリックします。



4 ［ディスク使用］をクリックします。



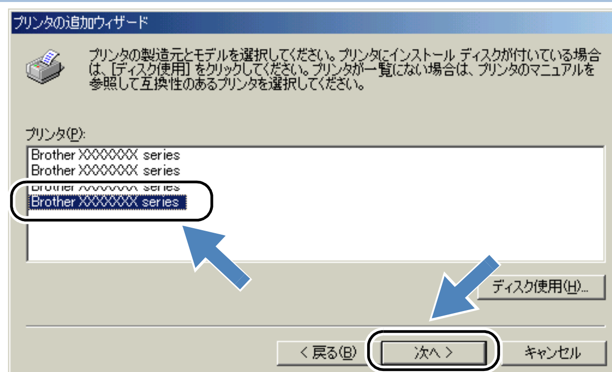
5 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

6 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタドライバの保存フォルダ「¥JPN¥W9X¥Addprt」を選びます。

7 ［開く］をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

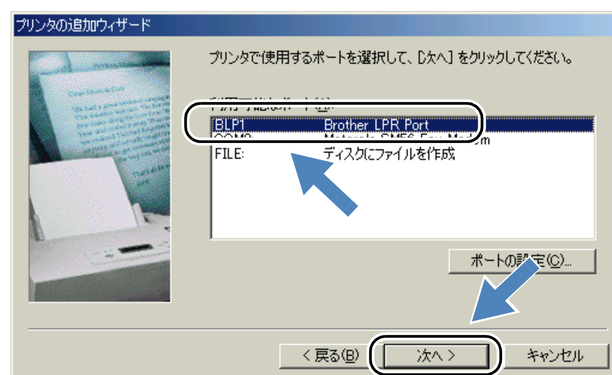
9 プリンタのリストからお使いのモデル名を選び、[次へ] をクリックします。



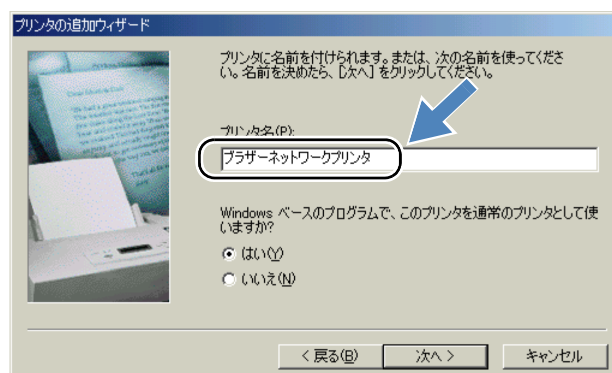


- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
  「現在のドライバを使う(推奨)」を選び、[次へ] をクリックします。

10 「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール」の手順 10 で設定したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
例) BLP1



11 必要に応じて「プリンタ名」を変更します。
例) ブラザーネットワークプリンタ

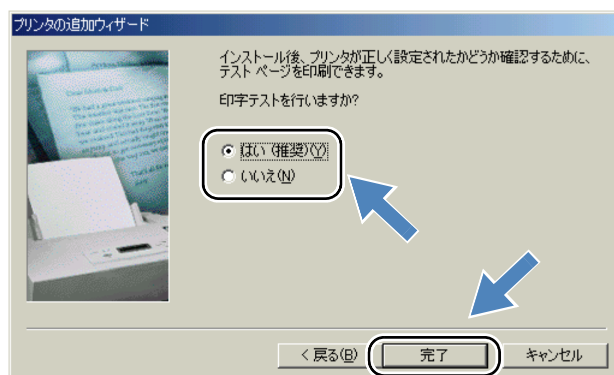


12 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選び、[次へ] をクリックします。

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

13 テストページを印刷するかどうかを選び、[完了] をクリックします。

● [はい] を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
● [いいえ] を選んだ場合は、あとでテストページが正しく印刷されるか確認してください。





ブラザーピアツーピア印刷ポートをさらに追加するときは

ブラザーピアツーピア印刷ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。以下の手順で追加できます。

① [スタート] メニューから [設定] − [プリンタ] の順にクリックし、設定するプリンタを選びします。
② [ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
③ [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
④ [ポートの追加] の [その他] をクリックし、「Brother LPR Port」を選びます。
⑤ [OK] をクリックします。
[ポート名の入力] が表示されます。
⑥「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 12 P.6-10 を実行します。

Windows NT4.0 の場合

TCP/IP プロトコルを追加する

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」P.6-15 へ進みます。

1 **［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。**
［ネットワーク］が表示されます。

2 **［プロトコル］タブをクリックし、［追加］をクリックします。**

3 **［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。**

4 **Windows NT 4.0 セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックします。**
- ご使用のパソコンが Windows NT 4.0 プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、パソコンに付属のリカバリィ CD-ROM の ¥i386 を指定してください。

必要なデータがコピーされ、［プロトコル］タブに［TCP/IP プロトコル］が追加されます。

5 **［サービス］タブをクリックし、［追加］をクリックします。**

6 **［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックします。**

7 **Windows NT 4.0 セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックします。**
- ご使用のパソコンが Windows NT 4.0 プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、パソコンに付属のリカバリィ CD-ROM の ¥i386 を指定してください。

必要なデータがコピーされ、［サービス］タブに［Microsoft TCP/IP 印刷］が追加されます。

8 **［プロトコル］タブをクリックします。**

9 **［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックします。**

10 **ホスト IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ アドレスを設定し、［OK］をクリックします。**
入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

11 **［OK］をクリックします。**
再起動を促すメッセージが表示されます。

12 **［はい］をクリックします。**
パソコンが再起動されます。
これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Start.exe」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 ［その他のインストール］を選択します。

3 ［ネットワーク印刷ソフトウェア］をクリックします。

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

4 ［次へ］をクリックします。

5 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。

6 ［ブラザーピアツーピア印刷（LPR)］をクリックします。

7 ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

● フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。

8 使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

お買い上げ時のポート名は「BLP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。

9 ［IP アドレス］に、印刷したいプリンタの IP アドレスを入力します。

例）192.168.0.53



hosts ファイルを編集した場合や、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本機に割り当てた名前を入力します。本機は、NetBIOS 名をサポートしているため、本機の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名はネットワーク設定一覧に表示されます。お買い上げ時の NetBIOS 名は、有線ネットワークは「BRN_xxxxxx」で、無線ネットワークは「BRW_xxxxxx」です。「xxxxxx」は MAC アドレスの末尾 6 桁です。

10 ［OK］をクリックします。

11 ［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。

パソコンが再起動されます。

これで、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールは完了しました。

「プリンタの関連付け」P.6-16 へ進みます。

プリンタの関連付け

作成したブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートに、プリンタの関連付けをします。

1 **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。**

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［このコンピュータ］をクリックし、［次へ］をクリックします。**



［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように、注意してください。

3 **［BLP1］（Brother LPR Port）をクリックし、［次へ］をクリックします。**

4 **使用するプリンタドライバを指定します。**

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

5 **［次へ］をクリックします。**



すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

6 **プリンタを他のユーザと共有するかどうかを選択し、共有する場合は、［共有名］を入力します。印刷に使用するパソコンのオペレーティングシステムを選択し、［次へ］をクリックします。**

7 **テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。**

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートの追加

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。

② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

④ ［Brother LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

⑥「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順 8 ～ 11 P.6-15 を実行します。

NetBIOS で印刷する

概要

ブラザーネットワークプリンタは、TCP/IP ベースの NetBIOS プロトコルを使用した印刷をサポートしています。NetBIOS に対応したネットワーク対応ブラザープリンタは、「ネットワークコンピュータ」として、通常の Windows パソコンと同じように表示され、ネットワークプリンタとして使用できます。
NetBIOS の場合は、ネットワークに接続されているパソコン上で動作している DOS アプリケーションからの印刷もできます。

ネットワークの設定

NetBIOS ピアツーピアで印刷するには、本機に TCP/IP の IP アドレスを設定し、ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に変更します。
詳細は、「ネットワークインターフェースを設定する」P.8-2 を参照してください。

ドメイン名について

ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に設定すると、ネットワークインターフェースがそのドメイン（ワークグループ）の中の「ネットワークコンピュータ」として認識され、ネットワークプリンタとしてインストールすることができます。
この機能を使用するために特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。
ただし、Windows 95/98/Me/2000/XP および Windows NT 4.0 で複数のパソコンから同時に印刷しようとすると、「プリンタが利用できません」のエラーメッセージが表示されることがあります。
「ブラザーピアツーピア印刷 (NetBIOS) ポートモニタ」ソフトウェアを使用すれば、使用中、電源が入っていない、用紙切れなどの場合にも、印刷ジョブのスプールを続行することができます。プリンタが利用できるようになるまで、ポートモニタによって、印刷ジョブがパソコン上に保留され、エラーメッセージは表示されません。

Windows 95/98/Me の場合、お買い上げ時のワークグループ名は、WORKGROUP になっていますが、任意の名前に変更することができます。
Windows NT 4.0 の場合は、ドメインというネットワークのまとまりで集中セキュリティ管理され、ワークグループで分散セキュリティ管理されています。
ブラザーネットワークプリンタでは、ネットワークの構成がワークグループでもドメインでも問題はありません。お買い上げ時のドメイン名（ワークグループ名）は「WORKGROUP」です。使用するパソコンが別の名称の場合は、本機も同じ名称に設定してください。

ドメイン名（ワークグループ名）の設定には、次の方法があります。

- BRAdmin Professional を使用する。P.8-2
  TCP/IP で動作します。
- ウェブブラウザを使用する。P.5-2
  本機とパソコンが TCP/IP で通信できることが必要です。



本機が「ネットワークコンピュータ」（Windows 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）に表示されるまでに数分かかる場合があります。また、プリンタの電源を切った場合も、本機が「ネットワークコンピュータ」（Windows 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）から削除されるまでに、数分かかる場合があります。これは Microsoft のワークグループまたはドメインをベースにしたネットワークの仕様であり、トラブルではありません。

TCP/IP プロトコルを追加する

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。

- Windows 2000/XP の場合（標準でインストールされています）
- Windows NT 4.0 の場合 P.6-14
- Windows 95/98/Me の場合 P.6-8

すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、次の「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」へ進みます。

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールします。

1 CD-ROM のインストールメニュープログラムを実行します。

● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Start.exe」をダブルクリックして画面を表示させてください。

ブラザーレーザープリンタユーティリティが起動します。

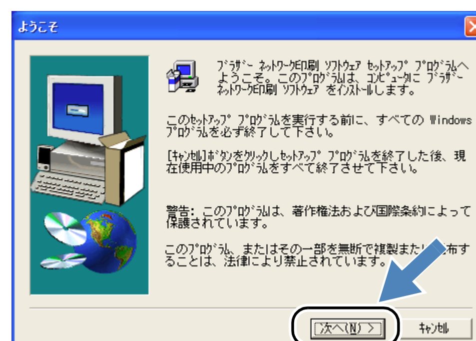
2 お使いのモデル名を選択します。

3 ［その他のインストール］を選択します。

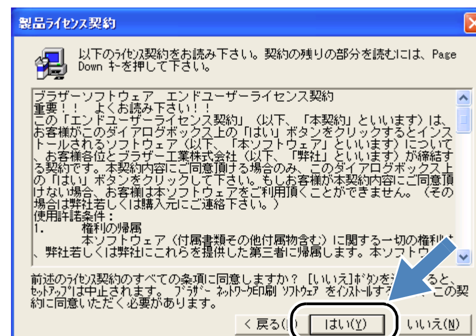
4 ［ネットワーク印刷ソフトウェア］をクリックします。

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

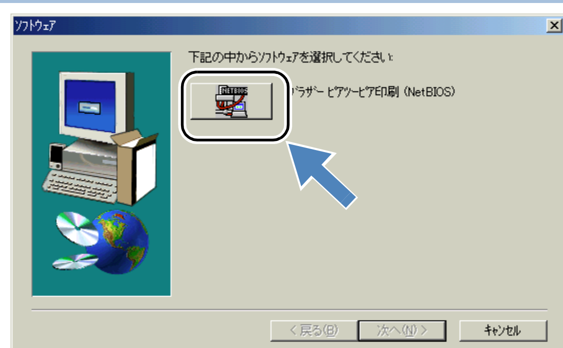
5 ［次へ］をクリックします。



6 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。



7 ［ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）］をクリックします。



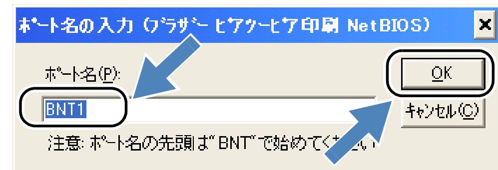
8 ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

- お買い上げ時のフォルダから変更する場合は、［参照］をクリックしてフォルダを指定します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。



9 使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

お買い上げ時のポート名は「BNT1」です。既にこのポート名が使用されている場合は、エラーメッセージが表示されますので、再度別のポート名を入力してください。その際は必ずポート名を「BNTx」（x は任意の数字、例：「BNT2 など」）の形にしてください。



10 ［印刷先の検出］をクリックします。

本機を検索します。
表示されたドメイン（ワークグループ）から印刷に使用するプリンタとポートを選択してください。
プリンタが表示されなかった場合は、プリンタのドメイン名（ワークグループ名）が正しく設定されているか確認してください。





印刷に使用するプリンタがまだネットワークに接続されていない場合には、［印刷先］を直接入力します。
［印刷先］は、\\NodeName\ServiceName などのように、UNC（Universal Name Convention）に準拠している必要があります。

- NodeName は本機の NetBIOS 名で、お買い上げ時の設定は「BRN_xxxxxx」（有線 LAN 接続の場合）または「BRW_xxxxxx」（無線 LAN 接続の場合）（「xxxxxx」は MAC アドレスの末尾 6 桁）です。
- ServiceName は本機の NetBIOS のサービス名で、お買い上げ時は「BINARY_P1」です。

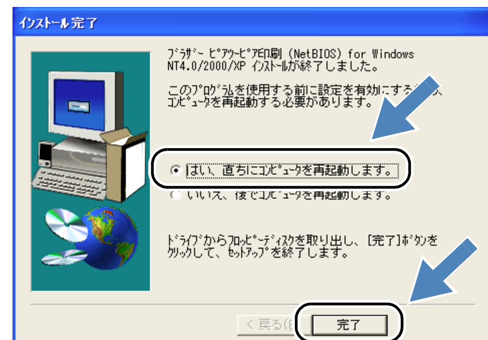
例）\\BRN_34DA01\BINARY_P1

11 ［OK］をクリックします。

12 ［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。

パソコンが再起動されます。

これで、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストールは完了しました。



- Windows 95/98/Me の場合は、「プリンタの関連付け」P.6-21 へ進みます。
- Windows 2000/XP、Windows NT 4.0 の場合は、「プリンタの関連付け」P.6-24 へ進みます。

Windows 95/98/Me の場合

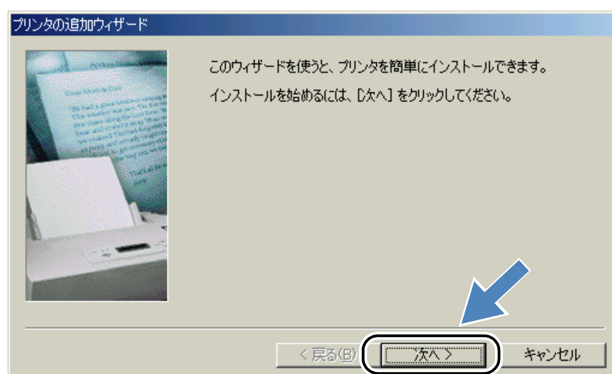
プリンタの関連付け

作成したブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、プリンタの関連付けをします。

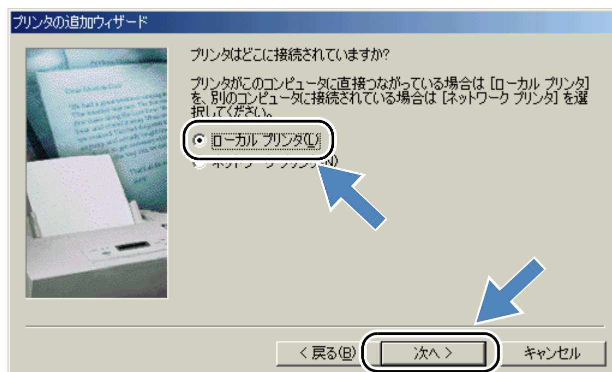
1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。



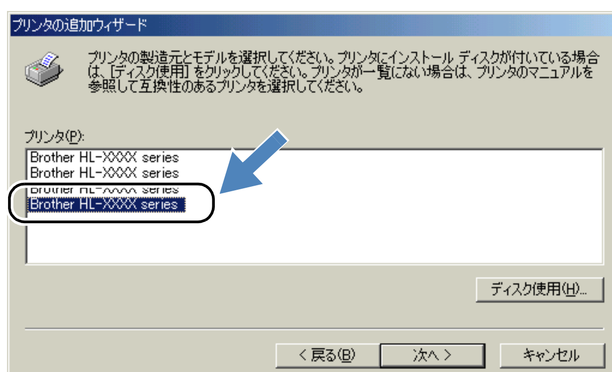
3 ［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。



4 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM上の保存場所を参照します。

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。



5 ［次へ］をクリックします。

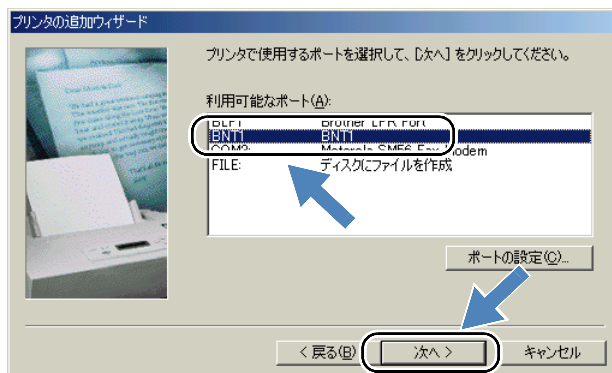


すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

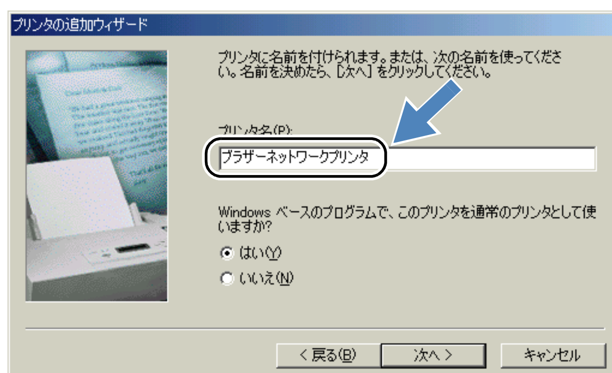
6 「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックします。

例）BNT1



7 必要に応じて［プリンタ名］を変更します。

例）ブラザーネットワークプリンタ



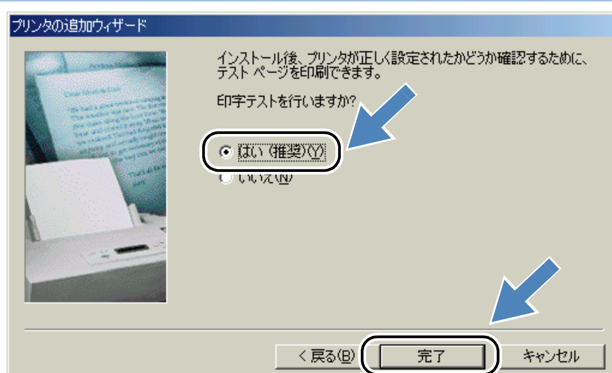
8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。





ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートの追加

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［Brother NetBIOS Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
　［ポート名の入力］が表示されます。
⑥「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 12 P.6-19 を実行します。

Windows 2000/XP、Windows NT 4.0 の場合

プリンタの関連付け

作成したブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、プリンタの関連付けをします。

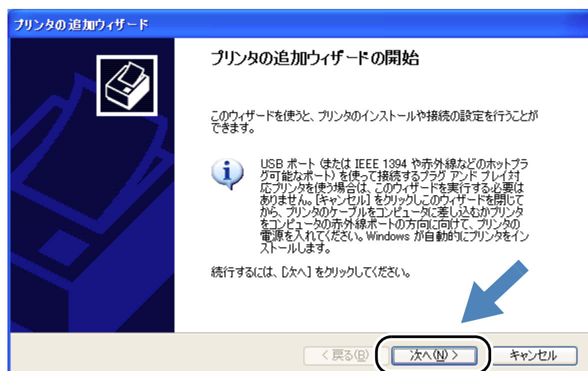
1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

- Windows 2000、Windows NT 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

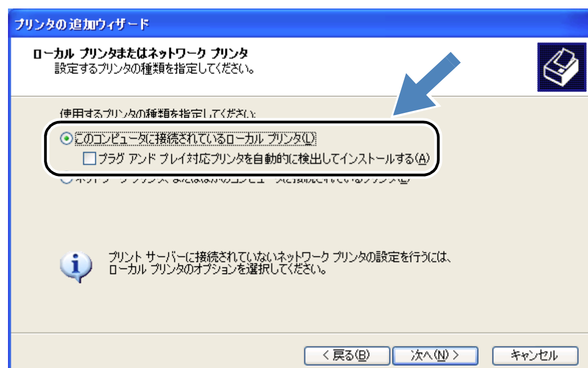
- Windows NT 4.0 の場合は、手順 3 へ進みます。

2 ［次へ］をクリックします。



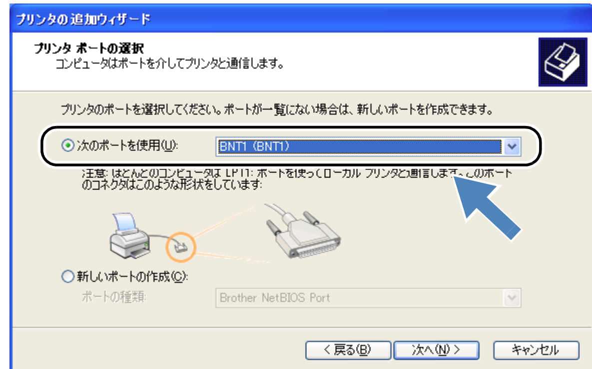
3 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

- Windows 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。
- Windows NT 4.0 の場合は、［このコンピュータ］を選択します。



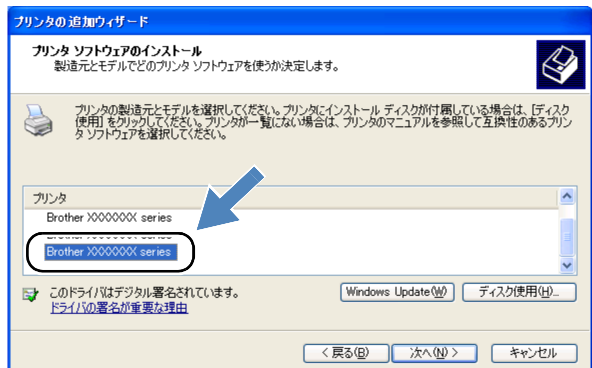
4 ［次へ］をクリックします。

5 ［次のポートを使用］をクリックし、「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択します。
例）BNT1



6 ［次へ］をクリックします。

7 使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。





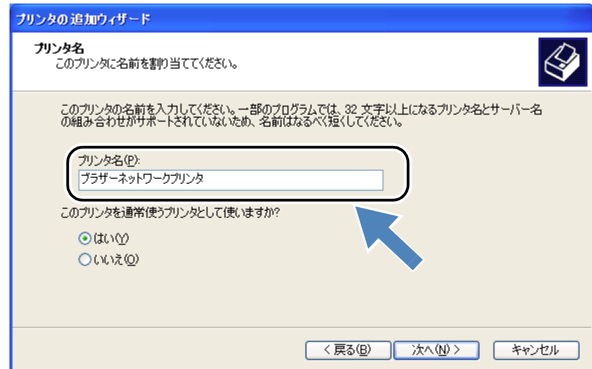
パソコンがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft のホームページから直接プリンタドライバをダウンロードすることもできます。

8 ［次へ］をクリックします。



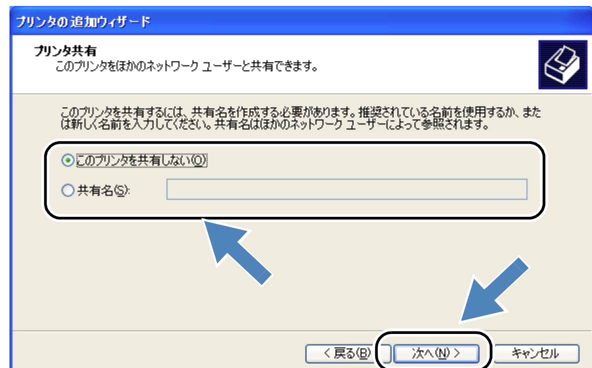
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

9 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。
例）ブラザーネットワークプリンタ



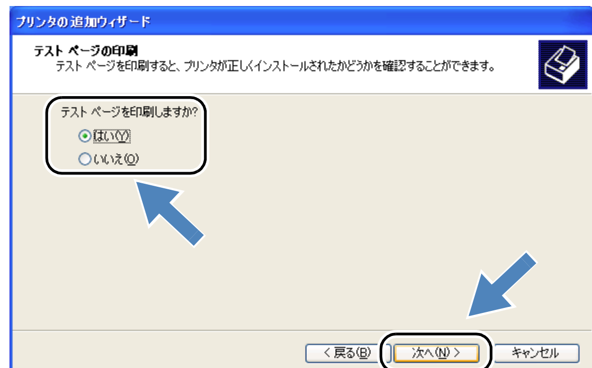
10 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

11 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。



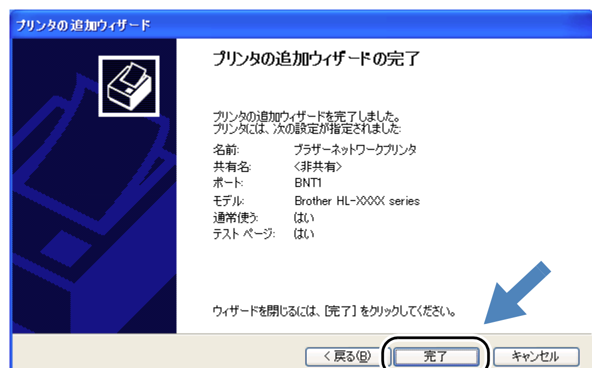
12 テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。



13 ［完了］をクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。





ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートの追加

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［Brother NetBIOS Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥「ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 12 P.6-19 を実行します。

第 7 章 インターネット印刷機能を使う

Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP が、標準サポートしている IPP プロトコルを使用してインターネット印刷をすることができます。

Windows 2000/XP のインターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。



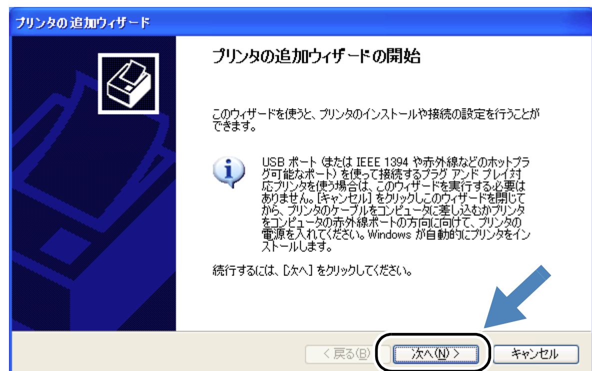
- この章の内容を操作する前に、本機の IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスを設定する必要がある場合は、「第 2 章 有線 LAN で設定する」を参照してください。
- “ホストコンピュータとプリントサーバが同じサブネット上にあるか”または“ルータが 2 つのデバイス間でデータを渡すように正しく設定されているか”のどちらかを検証してください。
- お買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

● Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

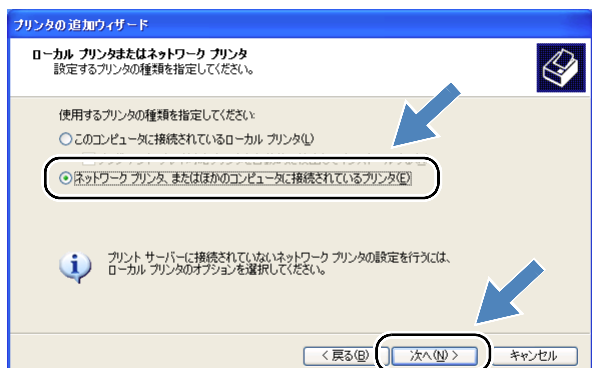
2 ［次へ］をクリックします。



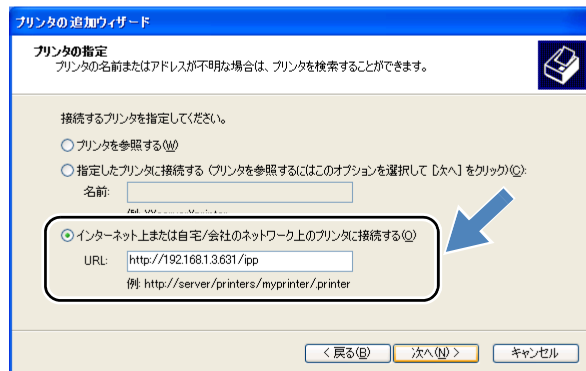
3 ［ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

● Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］をクリックします。

［プリンタの指定］画面が表示されます。



4 ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］をクリックし、［URL:］ボックスに次の URL を入力します。



- Windows 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］をオンにし、［URL:］ボックスに次の URL を入力します。

http://printer_ip_address:631/ipp

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスまたは DNS 名です。
例） プリンタの IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
http://192.168.1.3:631/ipp

5 ［次へ］をクリックします。

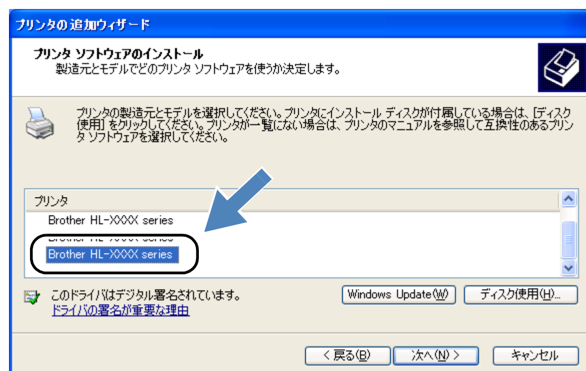
指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
適したプリンタドライバがパソコンにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
ドライバをお買い上げ時のプリンタドライバにするかどうかを選択し［次へ］をクリックします。
手順 8 に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
IPP 印刷プロトコルのメリットの 1 つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタドライバの種類を Windows 2000/XP に対して指定する必要はありません。
プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順 6 に進んでください。

6 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。





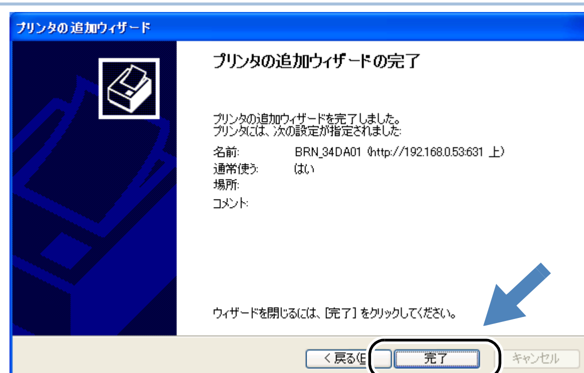
パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft のホームページから直接プリンタドライバをダウンロードすることもできます。



[次へ] をクリックします。



[完了] をクリックします。



これで、Windows 2000/XP のインターネット印刷機能の設定は完了しました。
このパソコンを経由してインターネット印刷ができます。

別の URL を指定する

[URL] ボックスには、次の何種類かの入力が可能です。



「詳細」タブをクリックしてもプリンタのデータは表示されません。

http://printer_ip_address:631/ipp
お買い上げ時の URL です。この URL の使用をおすすめします。

http://printer_ip_address:631/
URL の詳細を忘れた場合は、このテキストだけでもプリンタに受け付けられ、データが処理されます。

ブラザーネットワークプリンタに内蔵されているサービス名を使用する場合は、次の URL も使用できます。
http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1
http://printer_ip_address : 631/binary_p1
http://printer_ip_address : 631/text_p1
http://printer_ip_address : 631/postscript_p1
http://printer_ip_address : 631/pcl_p1
http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1_at

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスです。
xxxxxx は MAC アドレスの末尾 6 桁です。

第8章 BRAdmin Professional で管理する

BRAdmin Professionalをインストールする

BRAdmin Professional は、本機など、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

2 「その他のインストール」をクリックします。



3 「BRAdmin Professional」をクリックし、画面の指示にしたがってインストールします。



メモ

- Windows XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Professional の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。
  詳しい設定方法については「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールの問題」P.11-8 を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Professional の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdminProfessional を使用して本機の IP アドレスを設定してください。



お買い上げ時の IP アドレス
IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
- IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）

現在の設定値を調べるときは、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」P.2-20 を参照してください。



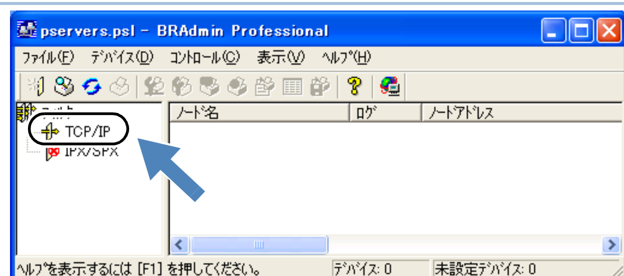
無線 LAN で接続する場合は、BRAdmin Professional を使用する前に、無線 LAN を設定しておく必要があります。



本機とパソコンをネットワークに接続した状態で、BRAdmin Professional を起動します。



ウィンドウの左側にある「フィルタ」の「TCP/IP」を選びます。

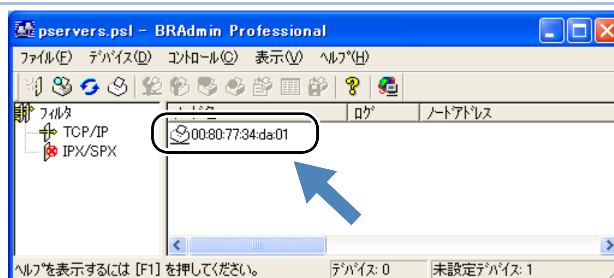




ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のネットワークインターフェースが表示されます。

3 ［デバイス］メニューから［稼働中のデバイスの検索］を選びます。

本機の設定がお買い上げ時のままでも、未設定デバイスとして表示されます。この場合、「ノード名」には MAC アドレスが表示されます。





Windows XP をお使いの場合や、アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が有効になっている場合、「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

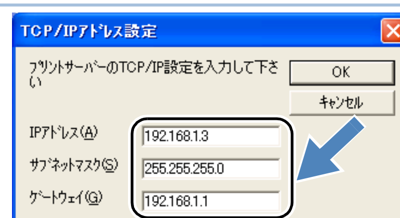
4 「未設定デバイス」をダブルクリックします。



現在設定されているノード名や MAC アドレスを調べるときは、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」P.2-20 を参照してください。

5 本機の IP アドレス、サブネットマスク、必要に応じてゲートウェイを入力します。

例） IP アドレス　　　　：192.168.1.3
　　サブネットマスク　：255.255.255.0
　　ゲートウェイ　　　：192.168.1.1



6 ［OK］をクリックします。

7 本機に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。



BRAdmin Professional を使用せずにネットワークを設定するときは

以下の方法でもネットワークの設定ができます。

- 操作パネルで設定する P.2-9
- DHCP、APIPA、RARP、BOOTP を使用する「IP アドレスの設定方法」P.12-2
- ウェブブラウザで設定する P.5-1



- BRAdmin Professional を使って設定を変更する場合は、手順 3 で本機をダブルクリックして、［TCP/IP］タブをクリックします。
- お買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。

Macintosh 編

第 9 章 ネットワークプリンタとして使う

設定の流れ

本機は Mac OS X 10.2.4 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されているプリンタを簡単に使用できるようになります。

●プリントサーバ（本機）の設定

TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバに適切な IP アドレスを設定する必要があります。
Mac OS X は、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPA を使用している環境であれば、プリントサーバも APIPA を使用して自動的に IP アドレスを割り当てるため、IP アドレスを設定しなくてもプリントサーバを使用できます。
IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを決める」P.1-11 を参照してください。

プリントサーバの設定を行う

↓ 必要に応じてプリントサーバにIPアドレスの設定などを行います。わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンタをリストアップし、使用できるように設定します。



簡易ネットワーク設定機能を使用すると、ネットワークプリンタとして使用できます。
設定方法については、下記の参照先を参照してください。

ブラザーレーザードライバ（推奨）を使用する場合

- Mac OS X 10.2.4 以降
  かんたん設置ガイド「ネットワークケーブル（有線 LAN 経由）で接続する場合」または「無線 LAN で接続する場合」
- Mac OS 9.1 ～ 9.2
  かんたん設置ガイド「ネットワークケーブル（有線 LAN 経由）で接続する場合」
  ※ Mac OS 9.1 ～ 9.2 は無線 LAN に対応していません。

Macintosh BR-Script 3 プリンタドライバを使用する場合（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）

- Mac OS X 10.2.4 以降 P.9-3
- Mac OS 9.1 ～ 9.2 P.9-6



BRAdmin Light について

BRAdmin Light は、本機など、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。
BRAdmin Light は、プリンタドライバと同時にインストールされます。
「第 10 章 BRAdmin Light で管理する」P.10-1 を参照してください。

Macintosh BR-Script 3 プリンタドライバを使う（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）

BR-Script 3（PostScript3 互換）ドライバを使用する場合は、次の手順でプリンタドライバを選択します。
ブラザーレーザードライバ（推奨）を使用する場合は、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

Mac OS X 10.2.4 以降の場合

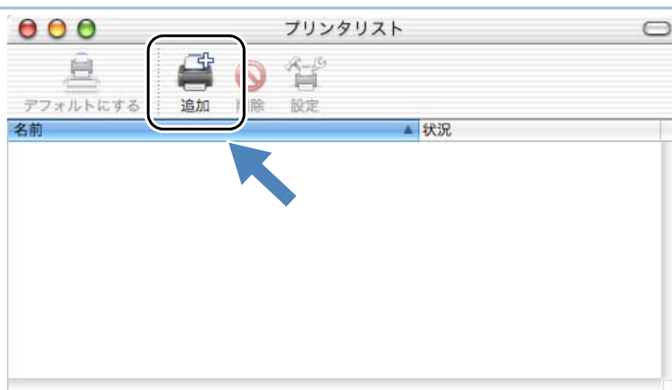


このセクションの画面は、Mac OS X 10.4 の画面です。Mac OS X 10.3 以前のバージョンの画面とは、画面や項目の名称が異なります。

1 プリンタの電源を入れます。

2 ［Macintosh HD］アイコン－［アプリケーション］フォルダー［ユーティリティ］フォルダー［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 の場合は [プリントセンター]）アイコンの順にダブルクリックします。

3 ［追加］をクリックします。

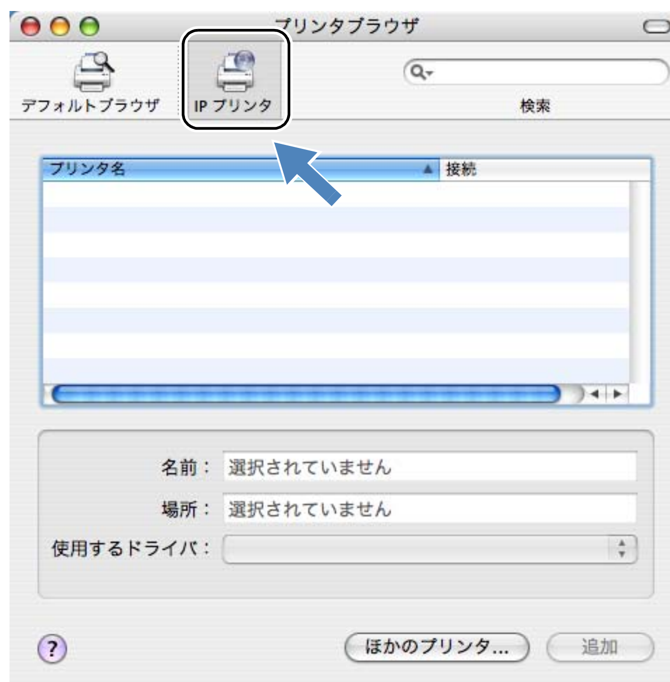


4 ［IP プリンタ］を選択します。
Mac OS X 10.2.4 から 10.3.X の場合は、[IP プリント] を選択します。

Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3.X

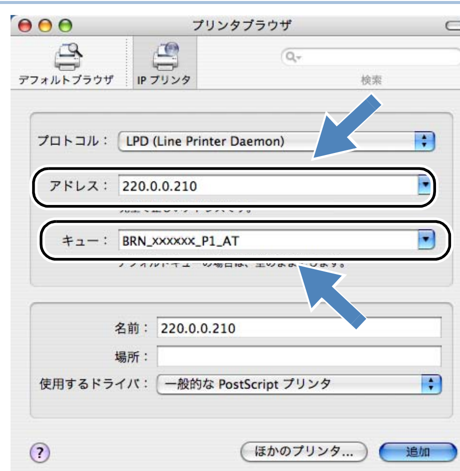


Mac OS X 10.4



5 ご使用になるプリンタの IP アドレスとキュー名を入力します。

キューを指定するときには、BRN_xxxxxx_P1_AT を使ってください。xxxxxx は MAC アドレスの末尾 6 桁です。

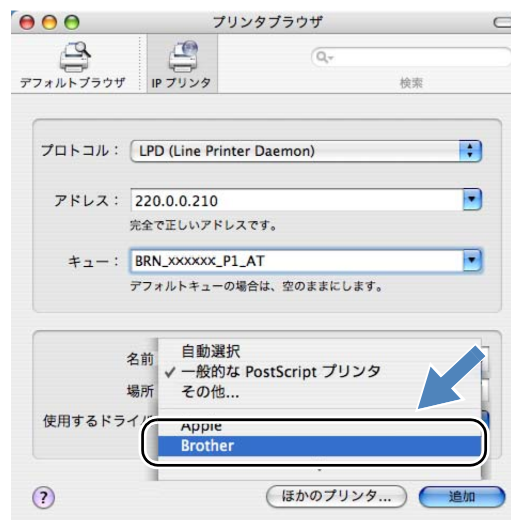




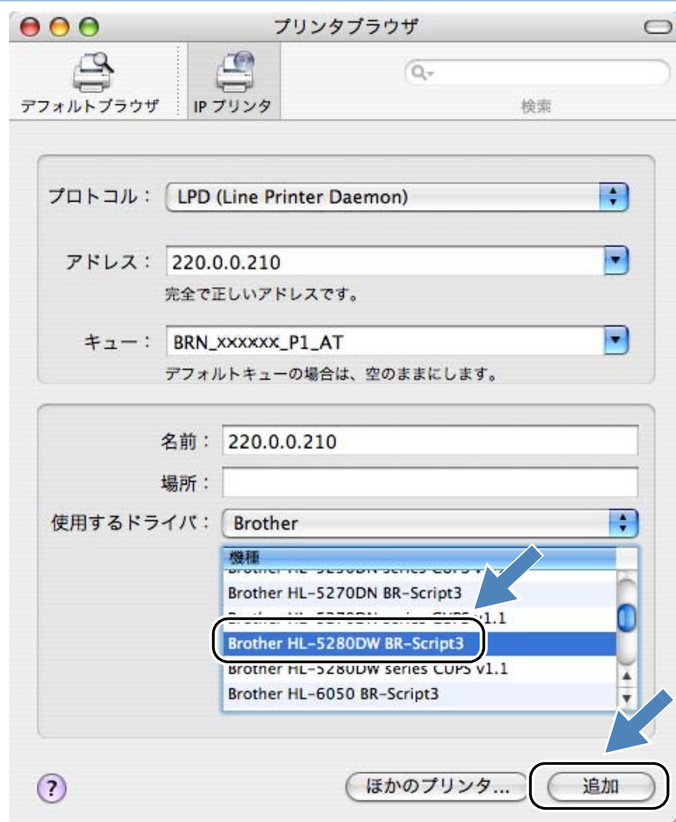
- ネットワーク設定一覧を印刷して、MAC アドレスを調べることができます。操作パネルにて または を押して [インフォメーション] を選択し を 2 回押します
- 適切なキュー名を指定していないときは、プリンタで正しく印刷ができません。ここで入力するキュー名と、プリンタのサービス名が一致していることを確認してください。

6 ［使用するドライバ］から［Brother］を選択します。

Mac OS X 10.2.4 から 10.3.X の場合は、[プリンタの種類] から [Brother] を選択します。



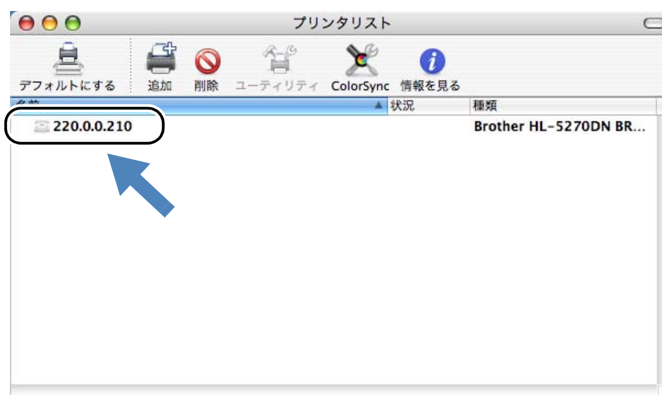
7 ［Brother HL-5280DW (5270DN) BR-Script3］を選択し、［追加］をクリックします。



プリンタが表示されます。

● プリンタを選択し、［デフォルトにする］をクリックすると、通常使用するプリンタとして設定されます。

これで、プリンタから印刷できます。



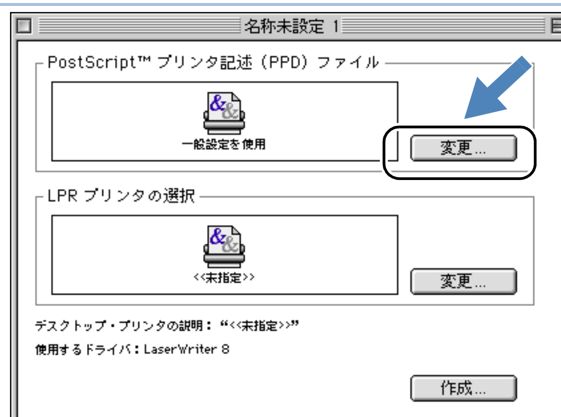
● Mac OS 9.1 ～ 9.2 の場合

1 ［Macintosh HD］アイコンー［Applications（Mac OS 9)］フォルダーー［ユーティリティ］フォルダーー［デスクトップ・プリンタ Utility］フォルダの順にダブルクリックします。
［デスクトップ・プリンタ Utility］が起動します。

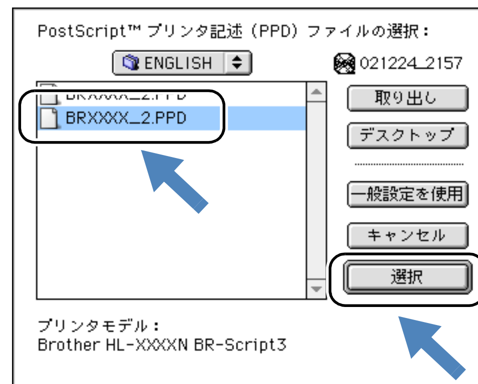
2 ［プリンタ（LPR)］を選択し、［OK］をクリックします。



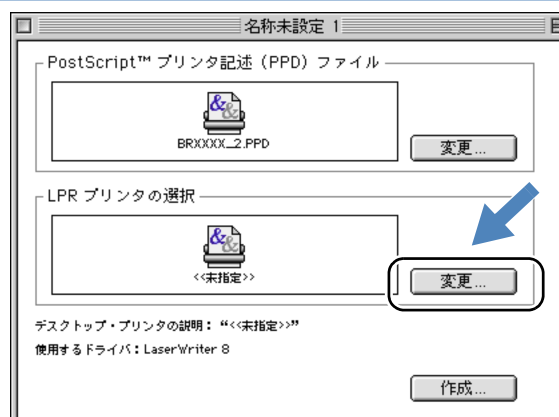
3 ［PostScript プリンタ記述（PPD）ファイル］の［変更…］をクリックします。



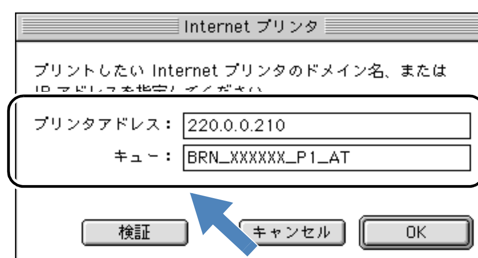
4 ご使用になるプリンタに対して適切な PPD ファイルを選択し、［選択］をクリックします。



5 ［LPR プリンタの選択］の［変更…］をクリックします。



6 ご使用になるプリンタの IP アドレスとサービス名を入力します。
キューを指定するときには、BRN_xxxxxx _P1_AT を使ってください。xxxxxx は MAC アドレスの末尾 6 桁です。

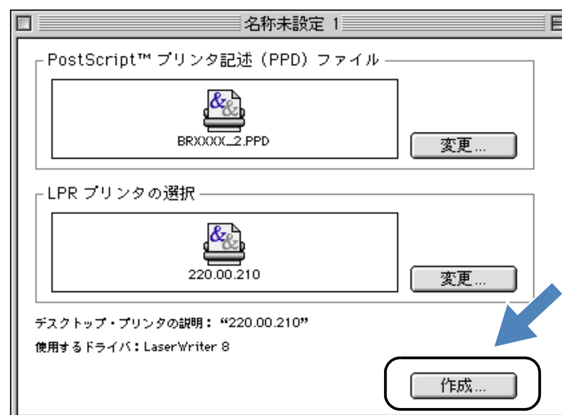




- ネットワーク設定一覧を印刷して、MAC アドレスを調べることができます。操作パネルにて または を押して [インフォメーション] を選択し を 2 回押します。
- 適切なキュー名を指定していないときは、プリンタで正しく印刷ができません。ここで入力するキュー名と、プリンタのサービス名が一致していることを確認してください。

7 ［OK］をクリックします。

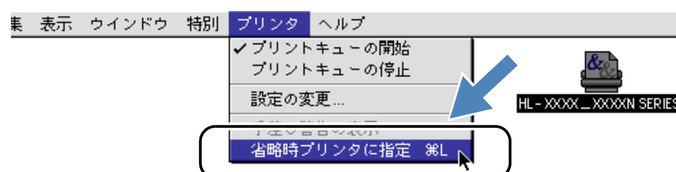
8 ［作成］をクリックします。



9 ［デスクトップ・プリンタの保存名］にご使用のプリンタ名を入力し、［保存］をクリックします。
例：HL-xxxx_xxxx series



10 手順 7 で作成したプリンタアイコンをクリックし、［プリンタ］メニューから［省略時プリンタに指定］を選択します。
プリンタが［省略時プリンタ］に指定します。



これでプリンタのセットアップは完了です。

第10章 BRAdmin Lightで管理する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザー BRAdmin Light は、Mac OS X 専用の Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows 専用）のいくつかの機能をサポートした、BRAdmin 簡易アプリケーションです。
BRAdmin Light は、プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。
BRAdmin Light についての詳細は、ブラザーソリューションセンター（**http://solutions.brother.co.jp/Library/sol/light**）でもご参照いただけます。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

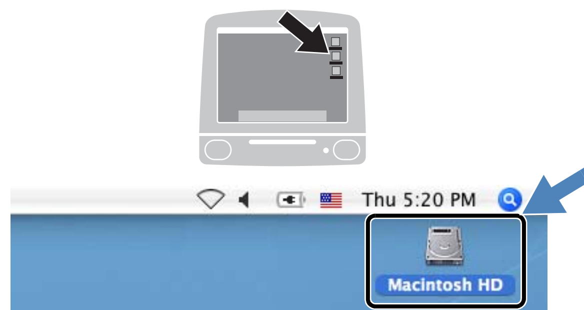
- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本機の IP アドレスを設定してください。



お買い上げ時の IP アドレス
IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の設定値を調べるときは、「設定一覧」を印刷します。詳しくは、「設定一覧の印刷」P.2-20 を参照してください。

1 デスクトップの［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。



2 ［ライブラリ］、［Printers］、［Brother］、［Utilities］の順に選択します。





ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のネットワークインターフェースが表示されます。

3 ［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックして、BRAdmin Light を起動します。

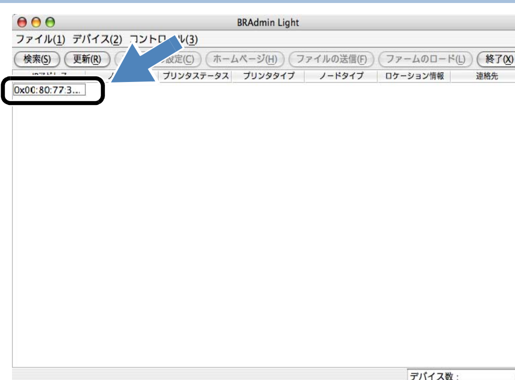
BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。





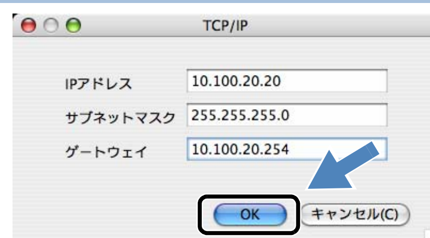
プリントサーバーのお買い上げ時のパスワードは、“access”に設定されています。BRAdmin Light ソフトウェアやウェブブラウザでお好きなパスワードに変更することができます。

4 新しいデバイスをダブルクリックします。



5 [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ] を入力し、[OK] をクリックします。

アドレス情報がプリンタに保存されました。



6 本機に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。



BRAdmin Light を使用せずにネットワークを設定するときは

以下の方法でもネットワークの設定ができます。

- 操作パネルで設定する P.2-5
- DHCP、APIPA、RARP、BOOTP を使用する「IP アドレスの設定方法」P.12-2
- ウェブブラウザで設定する P.5-1

こんなときは

第 11 章 トラブルシューティング

概要

本機を使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を以下の 4 つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

一般的な問題

CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない（Windows のみ）

ご使用のパソコンが自動起動に対応していないと、CD-ROM を挿入した後にメニューが自動的に表示されません。この場合は、CD-ROM の内容を表示して「start.exe」を実行してください。

本機のネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする方法

「有線設定リセット」を実行します。P.2-18

接続と設定の問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、以下の手順で確認します。

1 本機の電源がオンで、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。



設定一覧を印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。「設定一覧の印刷」P.2-20を参照してください。

a. 本体背面の 10BASE/100BASE-TX ポートの近くにあるネットワーク LED が点滅していない場合は、ネットワークファームウェアの設定に異常がある可能性があります。

b. この場合は、本機をお買い上げ時の設定にリセットします。
「有線設定リセット」を実行します。P.2-18

2 設定一覧は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

● **TCP/IP を使用している場合**
パソコンから次のコマンドを実行し、本機への ping を確認します。

Ping ipaddress

ipaddress は本機の IP アドレスです。
本機に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」P.11-6の各トラブルシューティングへ進みます。
  例） **C:¥>Ping 192.168.0.53**

```
Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.0.53:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答が返らない場合は、手順3を確認した後で、「TCP/IPのトラブルシューティング」P.11-6へ進みます。

  例） **C:¥>Ping 192.168.0.53**

```
Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.0.53:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

3 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認します。

a. 本機の電源がオンで、オンラインになっていることを確認します。

b. LED の表示をチェックします。

ネットワークインターフェースには本機の背面に 2 個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。

- 上の LED が消灯
  ネットワークインターフェースがネットワークに接続されていないことを示します。
- 下の LED が緑色に点灯
  ネットワークインターフェースがネットワークに接続されていることを示します。
- 下の LED がオレンジ色に点灯
  100BASE リンク
- 下の LED が消灯
  10BASE リンク

c. IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

- 本機に IP アドレスが正しくロードされていることを確認します。



設定一覧を印刷して、IP アドレスを調べることができます。「設定一覧の印刷」P.2-20を参照してください。

- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。

4 リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにします。

他のハブを使用している場合やリピータマルチポートの場合は、ネットワークインターフェースを別のポートや他のハブ、またはマルチリピータで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかを確認します。

5 本機とホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストから本機へのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。

例えば、ブリッジは特定の MAC アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。本機の IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。本機で使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

6 本機が印刷ジョブを受け取っているのに印刷されない場合は、テキストジョブを PostScript プリンタに出力していないかどうかをチェックします。
自動言語切り替え機能のあるプリンタを使用している場合は、プリンタが強制的に PostScript モードに切り替えられていないかどうかを確認します。

プロトコル固有の問題

TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークに問題がなく、TCP/IP を使用して本機に正しく印刷できない場合は、以下の手順で確認します。



設定エラーによる原因をなくすため、確認の前に以下の手順を行います。
- 本機の電源を入れ直します。
- 本機の設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

① 本機に IP アドレスが正しく設定されているか確認します。「設定一覧の印刷」P.2-20を参照してください。

② ネットワーク上で本機に設定した IP アドレスが重複して使用されていないことを確認します。本機のネットワークケーブル（LAN ケーブル）を外して、ネットワーク上のパソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから ping を実行し、タイムアウトになることを確認します。

2 本機に設定した IP アドレスが変わっていないか確認します。

本機に IP アドレスを指定して使用しようとした場合、パネル操作で間違いなく指定しているにもかかわらず、ping が通らなかったりする場合があります。IP アドレスを指定する場合は、あらかじめ、取得方法を「static（固定）」に変更してから IP アドレスを指定してください。

3 TCP/IP が本機で使用する設定になっていることを確認します。

4 rarp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ホストコンピュータで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デーモンが起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しい MAC アドレス（イーサネットアドレス）が記述されていることを確認します。
- ノード名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

5 bootp を使用した場合は、bootp が有効になっていることを確認します。

6 ホストコンピュータと本機が、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルータが設定されていることを確認します。

LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows 98/98SE/Me で、LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、以下の手順で確認します。

1 「Windows 95/98/Me の場合」P.6-8の説明に従って、ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。

2 プリンタドライバのプロパティの［ポートの設定］でバイトカウントを有効にします。

ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0 で、NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1 **「NetBIOS で印刷する」P.6-17 の説明にしたがって、ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。**

ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

2 **ネットワークプリンタが、ネットワーク内のパソコンと同じワークグループまたはドメインに所属するように設定されていることを確認します。**

ネットワークプリンタが「ネットワークコンピュータ」として表示されるまでに、数分かかることがあります。

ウェブブラウザのトラブルシューティング

1 **ウェブブラウザを使用してネットワークプリンタに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認します。**

プロキシを使用しないように設定し、必要に応じてネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。ネットワークプリンタの接続時に、毎回パソコンが ISP やプロキシサーバーへの接続を試行しなくなります。

2 **使用しているウェブブラウザが適しているか確認します。**

Netscape Navigator バージョン 7.1 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降の使用をおすすめします。

ファイアウォールの問題

Windows XP のインターネット接続ファイアウォールの問題

Windows XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IP ピアツーピア印刷 印刷ができない場合があります。
- BRAdmin Professional　プリンタの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。ただし、変更設定はセキュリティーポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

Service Pack1 の場合

インターネット接続ファイアウォールを無効にする

1 コントロールパネルから［ネットワーク接続］をクリックします。

2 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細設定］タブをクリックします。

4 ［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックボックスを OFF にします。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

1 ［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックボックスを ON にします。

2 プロパティシートの右下の［設定］ボタンをクリックします。

3 ［サービス］タブが選択されている画面で、［追加］ボタンをクリックし、以下の情報を入力します。
- サービスの説明
  “NetBIOS NameService”（名称は任意です。）
- ネットワークでこのサービスをホストしているパソコンの名前または IP アドレス
  “192.168.1.3”（本機に割り当てた IP アドレス）
- このサービスの外部ポート番号
  “137”
- このサービスの内部ポート番号
  “137”

プロトコル（TCP/UDP）は、“UDP”を選択してください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

Service Pack2 の場合

●インターネット接続ファイアウォールを無効にする

1 コントロールパネルから、［ネットワークとインターネット接続］-［Windows ファイアウォール］をクリックします。

2 ［全般］タブが選択されている画面で、［無効（推奨されません）］をクリックします。

●インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

1 ［例外］タブをクリックします。

2 ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

3 ［ポートの追加］ウィンドウで、以下の情報を入力します。
- 名前
  "Brother NetScan"（名称は任意です）
- ポート番号
  "54925"

プロトコル（TCP/UDP）は、"UDP" を選択してください。

4 ［ポートの追加］ウィンドウの左下の［スコープの変更］ボタンをクリックします。

5 「スコープの変更」ウィンドウで、［ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ］を選択します。

6 ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。
ローカルネットワークで複数の Windows XP をインストールしたパソコンから本機を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows XP のファイアーウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

アンチウイルスソフトの問題

市販のアンチウイルスソフト（ウイルスバスター TM、Norton AntiVirusTM など）でパーソナルファイアウォール機能が提供されている場合も、Windows XP と同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

無線 LAN の問題（HL-5280DW のみ）

無線 LAN セットアップウィザードで本機を検出できない

1 本機の電源がオンで、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

2 ご使用のパソコンを本機の近くに移動し、もう 1 度操作を繰り返します。

3 本機をお買い上げ時の設定に戻して、もう一度操作を繰り返します。



お買い上げ時の設定にリセットする方法については、「有線設定リセット」P.2-18を参照してください。

無線 LAN アクセスポイントに接続できない

接続先の無線 LAN アクセスポイントの属するネットワーク内のパソコンと本機が正常に通信できないときは、無線 LAN アクセスポイントに接続できていない可能性があります。次の項目をチェックしてください。

1 無線 LAN アクセスポイントの設定で、MAC アドレスによる接続制限をしている場合は、接続を許可する MAC アドレスのリストに本機の MAC アドレスを追加登録してください。

2 無線 LAN アクセスポイントに WEP キーの設定がされている場合は、本機にも WEP キーの設定を行なってください。

ときどき無線 LAN 接続できない

本機やその他の無線デバイスの設置場所や環境によって、無線 LAN 接続状況が影響されます。
次のような条件では、接続の問題が発生することがあります。

- 本機と無線 LAN アクセスポイントの間に、コンクリートまたは金属構造の壁がある
- テレビ、パソコン、電子レンジ、インターホン、携帯電話、バッテリー充電器、AC アダプタなどの電化製品や電気器具が、ネットワーク周辺に設置されている
- 放送局や高圧電線が、ネットワーク周辺に隣接している
- 蛍光灯の電源が入ったり、消えたりしている

無線 LAN で印刷ができない

1 本機の電源がオンで、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

2 ご使用のパソコンを本機の近くに移動し、もう 1 度操作を繰り返します。

3 本機のネットワーク設定ページを印刷し、無線設定および IP アドレスの設定などが使用するネットワークに適していることを確認してください。
不正な無線設定または重複した IP アドレスが原因でトラブルが発生することがあります。無線設定および IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。また、その IP アドレスがネットワーク上の他のノードで使用されていないことを確認してください。

4 OS のコマンドプロンプトから以下のように、ping（ネットワーク診断プログラム）を本機に対して実行してください。

ping 192.168.1.3

192.168.1.3 は本機の IP アドレスです。（IP アドレスを設定した後または電源を入れた後、本機が IP アドレスを表示するまでに数分かかることがあります。）

- 応答が正しく返される例：下記のように表示されます。
  例）C:¥>ping 192.168.1.3

  Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

  Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
  Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
  Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
  Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

  Ping statistics for 192.168.0.53:
  Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
  Approximate round trip times in milli-seconds:
  Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

- 応答が返らない例：下記のように表示されます。
  例）C:¥>ping 192.168.1.3

  Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

  Request timed out.
  Request timed out.
  Request timed out.
  Request timed out.

  Ping statistics for 192.168.1.3:
  Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
  Approximate round trip times in milli-seconds:
  Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms



上記の手順 3 または 4 が正しく終了しなかった場合には、本機をお買い上げ時の設定に戻し、最初からもう 1 度設定します。



お買い上げ時の設定にリセットする方法については、「有線設定リセット」P.2-18 を参照してください。



Windows XP のインターネット接続ファイアウォール（ICF）など、個人用のファイアウォールがパソコンで作動していないことを確認します。ファイアウォールが作動している場合は、一時的に無効にして、もう一度操作を繰り返してください。

印刷中のエラー

他のユーザーが大量のデータ（例：多量のページまたは高解像度のカラーページ）を印刷している間に印刷を実行すると、本機は実行中の印刷が終了するまで印刷ジョブを受け付けることができません。
印刷ジョブの待ち時間を超えると、エラーメッセージを返します。このようなときは、他のユーザーのジョブが終了した後に印刷を再度実行してください。

その他の問題

その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

1 **容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、最新のプリンタドライバがパソコンにインストールされているかどうかを確認します。**

プリンタの最新ドライバは、ブラザーソリューションセンター (**http://solutions.brother.co.jp**) からダウンロードできます。

2 **その他、まれに発生する問題の原因は、「プロトコル固有の問題」P.11-6を参照してください。**

第 12 章 付録

操作パネル以外から IP アドレスを設定する

概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。
この章では、本機の IP アドレスの設定方法について説明します。

IP アドレスの設定



IP アドレスの自動設定機能（APIPA）
APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバーがない環境では、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
APIPA を使用不可に設定する場合は、「APIPA」P.2-14を参照してください。
お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

APIPA を使用しない場合のお買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 です。お買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- 操作パネルから設定を変更する P.2-9
- DHCP を使用して自動的に設定する P.12-2
- APIPA を使用して自動的に設定する P.12-2
- RARP （rarp）を使用する P.12-2
- BOOTP を使用する P.12-3
- 手動で IP アドレスを設定する：BRAdmin Professional（Windows 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT4.0）/BRAdmin Light（Mac OS X 10.2.4 以降）P.12-2

IP アドレスの設定方法

手動で IP アドレスを設定する：BRAdmin Professional / BRAdmin Light

BRAdmin Professional は Windows 98/98SE/Me/2000/XP および Windows NT4.0、BRAdmin Light は Mac OS X 10.2.4 以降で使用できるソフトウェアです。
TCP/IP に対応していて、ネットワークと本機の設定を管理できます。また、本機のファームウェアのアップデートにも利用できます。(BRAdmin Professional のみ)

BRAdmin Professional および BRAdmin Light では、本機との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本機のお買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時は、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「第 8 章 BRAdmin Professional で管理する」P.8-1、または「第 10 章 BRAdmin Light で管理する」P.8-1を参照してください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバがある場合は、その DHCP サーバから本機に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバが利用できない場合は、本機の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本機の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは
0．0．0．0 に自動的に設定します。
お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

RARP を使用して IP アドレスを設定する

UNIX ホストコンピュータで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本機のプリントサーバの IP アドレスを設定することができます。
以下のエントリ例と同じような行を追加入力して、/etc/ethers ファイルを編集してください（ファイルが存在しない場合は、新しいファイルを作成します）。

例）**00:80:77:31:01:07 BRN_310107**

00:80:77:31:01:07 は本機の MAC アドレス、**BRN_310107** は本機のノード名です。

お使いのプリンタの設定のものを入力してください。（ノード名は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません）。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行します。
使用環境により、コマンドは rarpd、rarpd -a、in.rarpd -a などになります。詳細情報については、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。Berkeley UNIX ベース環境で rarp デーモンを確認するには、以下のコマンドを入力してください。

ps -ax | grep -v grep | grep rarpd

AT&T UNIX ベース環境では、以下のコマンドを入力してください。

ps -ef | grep -v grep | grep rarpd

本機の電源をオンにすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTP を使用する

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを以下に示します。

#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i



システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルを参照してください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、以下に示します。

BRN_310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:
ip=192.189.207.3:

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

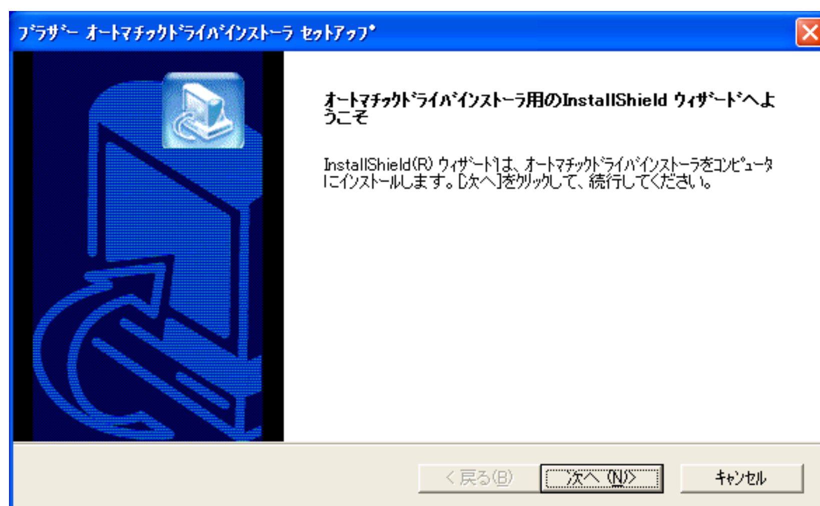
RARP での設定の場合と同じように、本機の電源をオンにすると、BOOTP サーバから IP アドレスが割り当てられます。

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバを作成でき、ユーザに配布することができます。配布インストーラは、OS ごとの作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows 専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows 95/98/Me/2000/XP、Wiondws NT 4.0
NetBIOS	Windows 95/98/Me/2000/XP、Wiondws NT 4.0
IPP	Windows 2000/XP

同梱の CD-ROM 内の「その他のインストール」メニューから「オートマチックドライバインストーラ」を起動します。画面の内容をよくお読みになり指示に従って操作してください。



サービスの使用

本機が同一ネットワーク上に接続されたパソコンに提供する印刷リソースをサービスと呼びます。ネットワークには、以下の定義済みサービスが用意されています。BRAdmin Professional の右画面でノード名を選び、右クリックして表示されるメニューから［プリントサーバ設定］を選ぶと、使用できるサービスのリストが表示されます。
このとき、本機のパスワードを入力する必要があります。（お買い上げ時は、パスワードが設定されていません。）

メモ BRAdmin Professional を使ったネットワーク設定について、詳しくは「ネットワークインターフェースを設定する」を参照してください。P.8-2

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリサービス
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス（LF の後に CR を追加）
POSTSCRIPT_P1	PostScript サービス（PJL 互換プリンタなら PostScript モードへ切り換えて印刷する）（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）
PCL_P1	PCL サービス（PJL 互換プリンタなら PCL モードへ切り換えて印刷する）
BRN_xxxxxx_P1	TCP/IP バイナリサービス
BRN_xxxxxx_P1_AT	Macintosh 用 Post Script サービス（HL-5270DN/HL-5280DW のみ）

xxxxxx は MAC アドレスの末尾 6 桁です（BRN_310107_P1 など）。

ネットワークボードのファームウェアのアップデート

概要

本機のネットワークボードのファームウェアは、フラッシュメモリに格納されています。そのため、適合するアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップデートを行うことができます。最新のファームウェアアップデートファイルを入手する場合は、以下のホームページを参照してください。
ブラザーソリューションセンター (http://solutions.brother.co.jp)



用意されているソフトウェアバージョンによっては、新しい機能を本機に追加するために、本機の設定が自動的にお買い上げ時の設定にリセットされることがあります。そのため、ファームウェアのアップデートを実行する前に設定一覧を印刷し、本機の現在の設定を必ず記録に残しておいてください。「設定一覧の印刷」P.2-20 を参照してください。

ファームウェアのアップデート方法

BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional を使用すると、ネットワークボードのファームウェアを簡単にアップデートできます。
BRAdmin Professional のインストールについては「BRAdmin Professional をインストールする」P.8-1 を参照してください。



BRAdmin Professional を起動します。



本機を選択します。



［コントロール］メニューの［ファームウェアのロード］を選びます。
複数のネットワークインターフェースを選択するには、<CTRL> キーまたは <SHIFT> キーを押したまま、必要なネットワークインターフェースを選択します。



次の方法で、新しいファームウェアアップデートファイルを本機に送ります。
このとき、本機のパスワードを入力する必要があります。お買い上げ時は、本機にパスワードは設定されていません。

TFTP PUT（ホストから）

1. 「TFTP PUT（この PC からのアップデート）」を選び、［OK］をクリックします。
   このとき、本機のパスワードの入力が必要です。
2. ファームウェアファイル名を指定して［ロード］をクリックします。
   BRAdmin Professional は TFTP プロトコルを使用して本機のファームウェアをアップデートします。

ネットワークボードのファームウェアのアップデート時の注意

プログラムが終了すると自動的に本機が再起動します。再起動が完了するまで、絶対に本機の電源を切らないでください。

約 2 分経過しても再起動しない場合は、入力したパラメータが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。もう一度本機の電源を入れ直し、ダウンロードを実行します。

用語集

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話 (アナログ) 回線を利用して、数 M ～数＋ Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバ側で集中的に行えるようになります。その後一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP （BOOTstrap Protocol ）をベースとする上位互換規格です。
BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などはあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメータ（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てられるようになっています。サービスを実行するにはサーバもしくは、その機能を有するルータが必要です。

● DNS サーバ

Domain Name System という体系で命名されたホスト名 (ドメイン名) から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバ化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

● **LAN**

Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるパソコン同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

● **MAC アドレス（イーサネットアドレス）**

OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェースカードのアドレス。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザが変更することはできません。

● **mDNS (multicast DNS)**

DNS サーバが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントパソコンがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple Mac OS X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

● **ping**

Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

● **RARP**

Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

● **SOHO**

Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指す言葉です。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

● **TCP/IP**

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト (アプリケーション) を特定して通信路を確立するするプロトコル (TCP) と、通信経路 (IP) から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4 、IP はレイヤー 3 に対応しています。

● **WINS**

Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、ネームサーバを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバが必要です。

● **WWW**

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

●**カテゴリ**

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット (1000BASE-T) によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略でより線のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

●ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルータ」や、単に「ルータ」と呼ばれる場合もあります。ルータは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

●サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.000.000.000
クラス B	255.255.000.000
クラス C	255.255.255.000

ルータの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

クラス A	010.000.000.000 ～ 010.255.255.255
クラス B	172.016.000.000 ～ 172.031.255.255
クラス C	192.168.000.000 ～ 192.168.255.255

●スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブを使って相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

●ノード

node 。ネットワークに接続されているパソコンなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

●ルータ

ネットワーク間 (LAN と LAN 、LAN と WAN) の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルータはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT(アドレス変換) の機能があります。

無線 LAN に関する用語

IEEE802.11b 及び IEEE802.11g

IEEE（米国電気電子学会）で定めた無線 LAN 規格で、IEEE802.11b は最大 11M ビット / 秒での通信が可能です。IEEE802.11g は IEEE802.11b の上位互換であり、更に高速な最大 54M ビット / 秒での通信が可能です。本製品の無線 LAN 機能は IEEE802.11b 及び IEEE802.11g の両方の規格に対応しています。

ASCII

American Standard Code for Information Interchange の略。アメリカ規格協会が定めた情報交換用の文字や記号を数値表現したものです。例えば ASCII コードの「41」はアルファベットの「A」を表します。

HEX

HEXADECIMAL の略。数字の 0 〜 9 及びアルファベットの A 〜 F を使用する 16 進数表示です。

MAC アドレスフィルタリング

無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスを登録することにより、許可された無線 LAN 端末以外は無線 LAN アクセスポイントに接続できなくなります。

SSID（ネットワーク名）

Service Set Identifier の略。ネットワーク名とも呼ばれる SSID は、無線 LAN を他の無線 LAN と区別するネットワークの識別子のことで、無線 LAN をグループ化するために用いられます。通常は無線 LAN アクセスポイントから発信されるビーコン等のパケットに含まれますが、ネットワークによっては、セキュリティ強化の為に無線 LAN アクセスポイントの SSID を表示しないように（SSID の隠ぺい）する場合もあります。

TKIP

Temporal Key Integrity Protocol の略。WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。
TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとに暗号キーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

WEP

Wired Equivalent Privacy の略。IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通の暗号キー（WEP キー）を設定して通信の暗号化を行います。設定した暗号キーが一致しない限り暗号化されたデータを解読することができません。

WPA-PSK

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が提唱する WPA(Wi-Fi Protected Access) の Personal モードです。WPA-PSK は、無線 LAN で使用される暗号化技術を用いた認証方式の一つであり、TKIP 暗号化を使用した事前共有キー（PSK）による認証を行います。

●アドホック (Ad-hoc) モード
無線 LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線 LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホック通信、またはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

●インフラストラクチャ (Infrastructure) モード
無線 LAN アクセスポイントを経由して、それぞれの無線 LAN 端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャ通信と呼ばれています。

●セキュリティ (Security)
無線 LAN では電波の届く範囲内であれば自由にそのネットワークへ接続することが可能になります。したがって、悪意を持った第三者に通信内容を盗聴されたり、無断でネットワークに侵入されて個人情報の取り出しやデータの改ざん、システムの破壊などの行為を許さないために暗号化などの安全保護を行うことを推奨します。この安全保護のことをセキュリティといいます。

●チャンネル (Channel)
無線 LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルは予め決められたそれぞれ異なる周波数帯域を持っています。一つの無線 LAN 内の全ての無線 LAN 端末は、同じチャンネルを使う必要があります。

●ネットワーク認証
無線 LAN で使われる認証方式の総称です。本製品がサポートしている認証方式としては、オープンシステム認証、共有キー認証、WPA-PSK などがあります。

●信号強度
無線 LAN 端末が無線 LAN アクセスポイント、または他の無線 LAN 端末から受信する電波の強さのことです。

●無線 LAN アクセスポイント
無線 LAN アクセスポイントは無線 LAN ルータとも言われています。無線 LAN アクセスポイントはネットワークの中心に位置し、個々の無線 LAN 端末は無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。また、無線 LAN アクセスポイントは無線 LAN のセキュリティ管理も行っています。

ネットワークの仕様

有線 LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-6400h	
対応 OS	Windows 95/98/Me/2000 Professional/XP、Windows NT 4.0 Mac OS 9.1 ～ 9.2、Mac OS X 10.2.4 以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	APR, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA （Auto IP）, WINS, NetBIOS name resolution, DNS resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, SMB Print, IPP, FTP server, Telnet, SNMP, HTTP, TFTP, SMTP Client
	TCP/IP：IPv6 ※1	NDP, DNS Resolver, mDNS,LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, IPP,FTP server, Telnet, SNMP, HTTP, TFTP, SMTP Client
ネットワークタイプ	10/100BASE-TX イーサネットネットワーク	
ネットワーク印刷	Windows 95/98/Me：ピアツーピア印刷 Windows NT 4.0、Windows 2000/XP：TCP/IP 印刷 Macintosh 印刷	
対応パソコン（ドライバ、BRAdmin Professional、ピアツーピアソフトウェアなど）	プロセッサ 最速スピード	Windows 95/98 ：486/66MHz 以上 Windows Me ：Intel Pentium 150MHz 以上 Windows NT 4.0：Intel Pentium 75MHz 以上 Windows 2000 ：Intel Pentium 133MHz 以上 Windows XP ：Intel Pentium 300MHz 以上 Windows XP Professional x64 Edition ※2 ：Intel Pentium 4 EM64T, Intel Xeron EM64T, AMD Opteron, AMD Athlon 64 以上
	最小 RAM	Windows 95/98 ：8MB 以上 Windows Me ：32MB 以上 Windows NT 4.0：16MB 以上 Windows 2000 ：64MB 以上 Windows XP ：128MB 以上 Windows XP Professional x64 Edition ※2：256MB 以上
	推奨 RAM	Windows 95/98 ：16MB 以上 Windows Me ：64MB 以上 Windows NT 4.0：32MB 以上 Windows 2000 ：128MB 以上 Windows XP ：128MB 以上 Windows XP Professional x64 Edition ※2：256MB 以上
Macintosh 接続	パソコン	イーサネット対応 Power Macintosh
	RAM	Mac OS 9.1 ～ 9.2 ：32MB 以上（64MB 以上推奨） Mac OS X 10.2.4 以降：128MB 以上（160MB 以上推奨）
	動作環境	Mac OS 9.1 ～ 9.2、Mac OS X 10.2.4 以降
管理ユーティリティ	BRAdmin Professional	Windows 95/98/Me/2000/XP, Windows NT 4.0
	BRAdmin Light	Mac OS X 10.2.4 以降

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、ブラザーソリューションセンター（**http://solutions.brother.co.jp**）を参照してください。

※2　Windows XP Professional x64 Edition のプリンタドライバは、ブラザーソリューションセンター（**http://solutions.brother.co.jp**）からダウンロードしてください。

無線 LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-7200w	
対応 OS	Windows 98/Me/2000 Professional/XP、Windows NT 4.0 Mac OS X 10.2.4 以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	APR, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA （Auto IP）, WINS, NetBIOS name resolution, DNS resolver, mDNS, LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, SMB Print, IPP, FTP server, Telnet, SNMP, HTTP, TFTP, SMTP Client
	TCP/IP：IPv6 ※ 1	NDP, DNS Resolver, mDNS,LPR/LPD, Custom Raw ポート / ポート 9100, IPP,FTP server, Telnet, SNMP, HTTP, TFTP, SMTP Client
ネットワークタイプ	IEEE802.11b/g 無線	
周波数	2412 ～ 2472 MHz	
RF チャンネル	1-14	
接続モード	インフラストラクチャモード , アドホックモード（802.11b のみ）	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度） （数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）	
ネットワークのセキュリティ	SSID (ESSID), 128 (104) / 64 (49) bit WEP, WPA-PSK (TKIP/AES), LEAP	
ネットワーク印刷	Windows 95/98/Me：ピアツーピア印刷 Windows NT 4.0、Windows 2000/XP：TCP/IP 印刷 Macintosh 印刷	
対応パソコン（ドライバ、BRAdmin Professional、ピアツーピアソフトウェアなど）	プロセッサ最速スピード	Windows 98/Me/2000 Professional/XP、Windows NT 4.0：Pentium II または同等のもの
	最小 RAM	Windows 98/Me ：24MB 以上 Windows 2000 ：32MB 以上 Windows XP ：64MB 以上
	推奨 RAM	Windows 98/Me ：32MB 以上 Windows 2000 ：64MB 以上 Windows XP ：128MB 以上
Macintosh 接続	パソコン	無線（AirPort）対応 Power Macintosh
	プロセッサ最速スピード	全ベースモデルは最速スピード対応
	最小 RAM	Mac OS X 10.2.4 以降 ：128MB 以上
	推奨 RAM	Mac OS X 10.2.4 以降 ：160MB 以上
管理ユーティリティ	BRAdmin Professional	Windows 98/Me/2000/XP, Windows NT 4.0
	BRAdmin Light	Mac OS X 10.2.4 以降

索　引

ね

は

ひ

ふ

ほ

む

ゆ

る